

大正十二年

廣島縣氣象年報

顯著記事

大正十二年氣象總概

四月八日の烈風

赤曾有の多雨

稀有の旱天續き

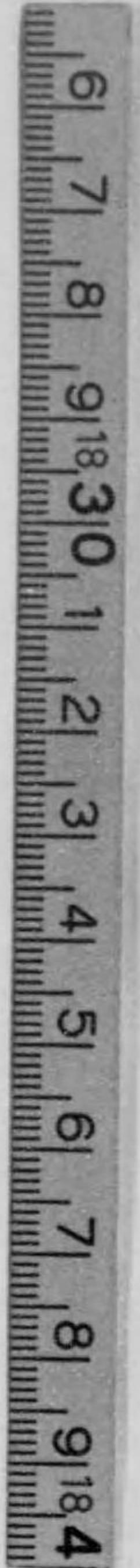
梅雨期の氣象

十二月五日の地震

九月一日の關東大震

十月十日乃至十二日の高潮

始





廣島縣氣象年報

本報は大正十二年中本所並に
郡市役所町村役場及び篤志家
の觀測したる氣象要素を編輯
したものにして顯著事項に
關しては其概況を記述した。而
して一般事業との關係調査の
資料たらんこを期する。

大正十三年八月

廣島縣廣島測候所

大正
14. 4. 24
内交

19.6-142

大正十二年廣島縣氣象年報目次

第一章 氣象概況

	頁
總 概	1
顯著暴雨並に豪雨	4
1. 二月十日の副低氣壓	4
2. 四月八日の烈風	4
3. 四月十二日の藤風	5
4. 四月二十八日の豪風	5
5. 五月二十、二十一日の豪雨	6
6. 六月十六、七日の豪雨	7
7. 六月二十日乃至二十二日の豪雨	8
8. 六月二十七日の豪雨	9
9. 六月三十日より七月一日に亘る豪雨	10
10. 七月五日の豪雨	11
11. 七月十一日及び十二日の豪雨	12
12. 七月十四日の豪雨	13
13. 八月三十一日の豪雨	14
14. 九月五日の雷雨	14
15. 九月中旬の颶風	15
16. 九月二十一日の豪雨	16
17. 十月二十日の強風	17
18. 十月三十一日の強風	17
19. 十一月十三日の強風	18
20. 十一月二十日の低氣壓	18
21. 十二月二十二日強風	19
顯著事項	20
1. 黃道光見ゆ	20
2. 未曾有の多雨	20
3. 蕪虹現る	20
4. 稀有の旱天續き	21
梅雨の氣象	21
霜雪の季節	23
地震	23
1. 一月二十日の地震	23
2. 四月七日の地震	23
3. 五月十三日の地震	24
4及5.六月十三日の地震	24
6. 九月一日の地震	24
7. 九月二日の地震	24
8. 九月十七日の地震	24
9. 九月二十三日の地震	24
10. 九月二十四日の地震	24
11. 十月三日の地震	24
12. 十月十二日の地震	24
13. 十一月三日の地震	25
14. 十一月二十日の地震	25
15. 十一月二十一日の地震	26
16. 十一月二十七日の地震	27
17. 十二月五日の地震	27
18. 十二月十二日の地震	27

第二章 廣島の氣象

概況

—氣壓—風—氣溫—蒸發—降水—雲量—日照—
—地溫—井水溫—天氣日數—霜雪—地震—

第三章 雜錄

大正十二年九月一日の關東大地震	29
大地震や津浪は起らない	30
旅行する人に對する希望 (中村勝次)	31
大正十二年十月十日乃至十二日の高潮 (中村勝次)	32

地震回數	34
霜雪の季節	35
地震總覽	36
管内氣象觀測所一覽表	40

氣象志

氣象概覽	1
氣壓の平均	2



凡例

1. 廣島の氣象觀測成績は毎時觀測のものにして管内觀測所の成績は主として十時の觀測に係る。
1. 氣壓、水蒸氣の張力、降水量及蒸發量は ^{リットル} 種 (一耗は我が三星三毛) を以て示し飽和は ^{グラム} 真を以て示す。
1. 氣溫、地溫等は總て攝氏の度を用ふ。
1. 溫度は百分率にて示す。即ち水蒸氣にて飽和せるを百とし、全く水蒸氣を含まざるを零とす。
1. 雲量は滿天雲にて載れたるを十とし碧空の晴れ渡れるを零とし十分率にて示す。
1. 風向は測候所の分は十六方位にて其他の觀測所の分は八方位にて示す。而してNは北、Eは東、Sは南、Wは西である。さればNNEは北東、WSWは西南西のことである。風速度は風が一秒時間に經過する平均行程を ^{メートル} 米 (一米は我が三尺三寸) にて示す。
1. 天氣類別日數中降水とは雨雪雹霰等の降りたる量が○耗以上ありたる日、快晴とは一日の平均雲量二、○より少きを、曇天とは八、○以上なるを云ふ。暴風とは二十分間の平均風速度十米/秒以上なりし日(測候所以外の觀測所にては風力強風以上の日)を云ふ。其他の天氣にありては其現象のありたる日を算した。
1. 統計表中に?を附したるは精算上不明の點あるを示す。
1. 廣島測候所は東經百三十二度二十七分北緯三十四度二十三分に位し平均海面上一米七にある。
1. 晴雨計海面上の高さは三米二、風力計地上の高さは九米である。氣溫を觀測する寒暖計は百葉箱内に懸吊し地上一米二の高さにあり。雨量計及蒸發計は地上○米三の高さに据えてある。
1. 海面上の氣壓を知らんには○耗四二を引くがよい。
1. 時刻は二十四時制に據る。即ち午前午後を冠せずして午前零時午前十一時等は單に零時十一時等とし正午は十二時午後一時は十三時午後九時ハ二十一時夜半ハ二十四時とする。



氣温の平均	2
水蒸氣張力の平均	3
溫度の平均	3
量水降	4
降水観測回數	4
白照時數並に不照日數	5
地面並に地中溫度の平均	5
雲量の平均	6
風速度の平均	6
風向觀測回數並に平均風向	7
方向別平均風速度	7
方向別最強風速度	7
方向別暴風時數	8
暴風日數	8
量別降水日數	8
五日以上引續きて降水を見たる日數	8
日々平均氣溫の差	9
氣溫度別算降回數	9
草上の最低溫度並に最低氣溫及ばざる度	9
氣溫類別日數	9
上層雲の方向及其回數	9
井水溫度	9
雜項	9

管内の氣象

氣溫の平均	10
氣溫の高極	10
氣溫の低極	11
最高氣溫の平均	11
最低氣溫の平均	12
降水量	13
降水最大日量	14
降水日數	15
降雪日數	16
霜日數	17
暴風日數	18
雷雨日數	19
霧日數	20
快晴日數	21
晴天日數	22
曇天日數	23
最多風向	24

廣島縣氣象年報

大正十二年

第一章 氣象概況

總 概

本年は稀有の寒氣と暑氣と旱魃と、未曾有の多雨を示し其他新記録を作つた事項が夥くなつた。又關東地方には有史以來未曾有の慘害を釀した大震火災があり實に多事の年であつた。今月を途ふて其梗概を述べよう。

一月 二日には月中の最低氣溫現はれた(水點下七度三)が松の内にかく低温だつた事は既往に於いて曾てないことである。下旬に於いて一時高溫となつたが月平均では著るしく低温であつた。また濕潤であつて天候不良であつた。曇天日數は十五日を算し斯月としては大正八年の十六日に亞ぐ多數であつた。

二月 中旬には連日溫暖にして十五六日には三月中旬のような暖さを覺えた。十五日夜には珍らしくも電雷があつたが既往に於いて二月に雷のあつたことは只一回に過ぎないのである。ところが下旬になつて二十三日から急に低温となり、二十五日高氣壓が北支那に發達し其勢力南方に及ぶや、氣壓の配布狀態嚴冬のそれの如くなつたから寒氣大に加はり月末には稀有の低温となつた(水點下八度以下り年中の低極)。曇天日數は十四日を算し斯月としては明治三十九年同四十五年及び大正八年と同數で明治十三年の十六日に亞ぐ多數であつた。概言すれば濕潤にして日照少く天候不良であつた。

三月 高氣壓が支那大陸から浮動して本邦に移つて來たことが頻繁で其中下旬のものは長く本州、九州より南海岸沖に亘つて存したから連日天氣好晴にして氣溫は著るしく高くなり二十五日より二十九日までは最高氣溫は日々二十度以上となり二十八日には二十二度六に上つた。これ斯月としては明治四十一年三月三十日の二十三度七に亞いでの高溫である。しかもかく早くかくの如く高溫となつたことは新記録である。されば櫻の開花も例年より早く二十九日には既に二三分も咲き出したものがあつた。月末近くには季節外れの颶風が小笠原島方面に現はれた

氣壓の平均は斯月として最高の新記録を作り其高極も稀有の高度に上つた。氣温も著るしく高く、最高氣温の平均は斯月としては既往に見ざる高度を示した。其高極は前述の如く高く其低極も亦斯月として低い方より第二位を占むるに至つたから月中の絶対較差は實に二十七度七に達し實に何れの月に於いても未だ曾て見なかつた大なるものであつた。又氣温の較差の平均は十一度八にして明治二十年に亞いでの大なるものであり、其最大は二十四日に十八度を示し三月としては未曾有の大なるものであり他の月に於いても稀なことである。要するに著るしく高温にして氣温の差極めて大であり、稍濕潤にして、降水量多かつたが降水日數少なく、日照盛にして天候は良好であつた。

四月 過渡期の特態として高氣壓支那大陸から本邦へ移動して來たことが頻繁であつた。そして低氣壓も顯著なものが現はれ就中八日日本海を通過したもののが著しく發達し全國に暴風雨を惹起し廣島でも烈風吹き荒んだ。前月の早暖は本月に入つて逆轉し寒さは引戻され中旬には花時の珍しくも海岸近くの山頂にまで白雪の載くを見、十四日には最低氣温は水點下〇度八に下り晚寒の新記録を作つたが月末には最高氣温は二十五度八に上つた。それで絶対較差は四月としては未曾有の大なるものであつた。要するに稍低温濕潤にして日照少なく天候不良であつた
五月 も高氣壓が支那大陸を離れて本邦に移動して來たことが頻々であつた。上旬には季節外れの颶風が小笠原島を荒したが本州では影響を受けなかつた。十九日からは氣壓の配布状態が梅雨期に於けるが如き状態を呈したので連日降雨し月末に及んだ、こんなことは本月としては既往に例を見なかつた所である。それで雨量は斯月としては稀有の多量をはかり（既往に於て五月に本年よりも雨量の多かつたのは明治三十六年同十二年同十四年の三ヶ年あるのみ）雨天日數は五月としては多數の記録を作つた。氣温の平均は斯月としては未曾有の高度を示し最低氣温の平均の高かつたことは明治十二年の十四度六に亞いだ。濕度の平均も大にして明治十七年と共に斯月として濕潤の第三位を占むるに至り。水蒸氣の張力の平均の大なりしことは五月としては新記録であつた。蒸發量の少なかつたことは五月としては明治二十三年についてのことであつた。曇天日數は大正三年と同數で斯月としては明治三十二年に亞ぐ多數であつた。雷日數は大正九年と同數で大正六年に亞ぐ多數であつた。要するに著しく高温濕潤多雨にして、天候は不良であつた。

六月 前半は天氣良好なる日多かつたが十五日夜から梅雨期に入り豪雨傾注し二十二日内海を颶風が通過したる後一時梅雨霧れとなつたが二十七日及び三十日より七月一日にかけて豪雨あり其都度出水し被害あつた、それで降水日量五十耗以上の日は六日あり其中三日は百耗以上あつた。そして月總量は實に六百六十五耗六に達し月量としては既往に於て何れの月に於ても見ざる多量であつた。雷日數は三日あり斯月としては稀有の多數であつた。氣壓は二十二日六時に七百四十一耗七に低下したがこれ六月としては低極の第二位を占むるに至つたのである。要するに雨量過多にして氣温低く天候不良であつた。

七月 十四日迄は七日に晴天なりし外は連日降雨し、豪雨を傾注する日多く爲に再三出水被害を見るに至つた。十五日より漸く梅雨の状態を脱したが天候未だ恢復せず二十五日迄は晴曇區々にして時々小雨を見たが、二十六日より天候恢復し晴天打續き盛夏の状態となり炎熱甚しくなつた。雨量五十耗以上あつた日は五日を算し就中五日及び十二日には百耗を超えた。月總量は實に五百二十七耗四にして斯月としては明治二十二年に亞ぐ他の月に於ても本年六月のものがあるばかりで月量の多かつたことは實に第三位を占むるに至つた。濕度の平均は八十三%二で濕潤の第五位となつた。要するに低温にして著しく濕潤多雨で天候不良であつた。

八月 晴天打續き水田涸渇し畑作は旱害を被つた地方があつた。その苦である七月二十六日以來本月二十一日迄二十七日間は一滴の雨さへ降らなかつたのであるこれ明治十六年に七月二十日より八月十八日迄で三十日間一滴の降雨もなかつたものに亞ぐ旱天續きである。されば六七月に雨に懲りた人々も今は降雨を切望するに至つたが、三十日に至り瀬戸内海を東進した低氣壓が多量の雨を齎したので愁眉を開いた。氣温の平均は二十八度四最高氣温の平均は三十三度九で孰れも前年八月のそれ等に亞ぐ高温であつた。最高氣温三十五度以上となつた日は五日あつた。日照時數は三百一時八で斯月としては未曾有の多照であり、他の月に於いてもこれより多かつたことは明治二十六年七月に三百十八時五あつたばかりである。雨天日數は僅に四日にして稀有の小數であつた。かくの如く稀有の高温多照旱天續きであつたが六七月の多雨の後を受けてのこととて却つて好適であつた。

九月 一日正午に數秒前緩慢な地震を感じたがこれを同日十一時五十八分過相模灘に發し關東に有史以來の大惨害を醸した大地震を廣島でも人身に感じたのであ

つた。そして月の後半には本縣附近に發達した地震三回を感じた。本月は過渡期の常態として高氣壓の支那大陸より遊離して本邦に移動して來たことが數回あつた二十日夜電雷あり二十一日未明に廣島市内に二ヶ所落雷あつたが些したる被害はなかつた。氣壓の平均は著しく低く、氣溫は稍高く、大氣は乾燥し、多雨であつたがしかも日照多く、天候は餘り不良ではなかつた。

十月 十二日揚子江下流域より東進して來た高氣壓は十三日に九州より本州中部を蔽ふたので此朝氣溫著しく低下し縣下で初霜を見た所があつた。概言すれば稍低温著しく濕潤多雨にして天候は良好でなかつた。

十一月 高氣壓は支那大陸に發達すること多かつたが長く占據することなく本邦に移動して來たこと數回あつた。それで濕潤多雨にして日照少なく天候不良であつた。

十二月 高氣壓が支那大陸に占據すること多く氣壓は高かつた。しかし氣溫は稍高く濕潤にして日照少なく天候は良好でなかつた。

顯著暴風雨並に豪雨

1 二月十日の副低氣壓 九日正午朝鮮南岸沖にあつた副低氣壓(七六五耗)は同夜朝鮮海峽を經、十日には日本海を北東へ進行しつゝ發達し七百五十二耗に低下した。そして十一日朝には北海道西方海岸に近づいたが其後衰へた。高氣壓は支那に於いて七百六十八耗を示して居た。廣島では氣壓は九日十時には七百六十八耗二であつたがそれより低下し十日十八時に最低七百五十八耗六に達した。風は十日午前中は北西の風弱かつたが十三時には北西の和風となり十四時には最强(西風九米/秒九)に達した。しかし十五時には一旦軟風となつたが十六時には疾風となり其後和風若くは軟風吹いた。風向は十八時迄は西で十九時よりは南西の風となつた。十一日には四時に北々東風七米/秒九に吹いたがこれは全く突風的のもので此日二時以後はこれを除いては和風にも達しなかつたのである。雨は十日二時五十分より微雨降り出したが四時三十六分に一旦歇み、九時五十五分より再び降り出し断續して十一日〇時十五分に至り全く霧れた。雨量は測るほどなかつた。

2 四月八日の烈風 七日正午黃河下流域にあつた駆風は東南東へ進行して山東半島黃河を通過し八日六時には南鮮に來り進路を北東に轉じ日本海に入りてより大に發達し九日には宗谷海峽の西方よりなほ北東進をつゝけ樺太南部を斜斷し九日オホーツク海へ去つた。これがため廣島では七日午後より氣壓下降し八日八時

よりは毎時一耗以上低下し同十二時に最低七百五十二耗五に達した。風は八日八時までは静穏だつたが八時過より急に南々西風強く吹き出し九時には疾風、十時十一時には強風となり十一時半頃より烈風となり十二時二十分には最强南々西風十七米/秒五に達した。其後頓に衰へ十三時よりは疾風となり十七時には南西の和風となり十八時には風向北西に轉じ軟風となつたが十九時にはまた和風となり二十時より軟風となつた。風向は二十一時迄は北西であった。雨は八日七時四十二分に微雨降り直ちにやみ、八時十八分より十九分間微雨ありいづれも量るに足らなかつた。そして十一時五十八分より又復降り出し十二時十分より中雨となつたが十三時二十分より雨勢衰へ同四十三分にやんだ。此雨量七耗二。十二時五十四分より十三時十九分迄北西方に電雷があつた。此駆風は九州以北の地に暴風雨雪を惹起し被害を見たる地方少からず本縣にても被害があつた。

3 四月十二日の駆風 十一日六時に遼東半島にて低氣壓發生せんとする模様あつたがやがてものになり正午には鴨綠江口に進み來り更に南東進して朝鮮中部を斜斷し十八時には日本海南西部に入り十二日は日本海南部を東進し十八時に能登沖に到りし頃にはますます發達して七百三十耗に下つたそれより東北東へ進行し奥羽を横ぎり十三日に太平洋へ去つた。十一日には此駆風以外に小低氣壓が支那東海に二個土佐沖に一個其他にも二個散在して居たが是等は十二日六時には熊野灘と四國東部とに來りしものゝ外は影を失ひこの兩者は後發達して十二日十八時には金華山沖にて七百三十耗に低下した。是等の低氣壓のため本邦各地にては暴風雨となり山陰、大阪灣其他に於て被害を見たる地方渺ながらざりき。廣島にては氣壓は九日以來下降し十一日夜半には七百五十耗に下り十二日五時に最低七百四十六耗三に低下した。風は十二日には四時迄は南西の軟和風であつたが五時には西の疾風となり六時には北の疾風だつたが七時には弱くなり北々西の和風となり九時には北東の軟風となつたが十時より十三日一時までは北乃至北西の風が或は強く或は弱く最も強かつたのが十二時の北西風九米/秒六で最も弱かつたのが十三時の北風二米/秒一でその他は和風若しくは疾風であつた。雨は十二日一時四十分より十一時二十五分迄で断續し、十一時三十八分より二十時三十三分迄で降續し二十時四十五分より再び断續して翌日に及んだが十二日の雨量は僅に四耗二に過ぎなかつた。

4 四月二十八日の豪雨 二十七日支那中部より來た低氣壓は二十八日六時には

黄河中部に來り北東へ進行して二十九日沿海州を通過し三十日にオホーツク海へ去つたが二十八日六時には支那東海北部に副低氣壓あつてV状低壓部は同日十八時迄に九州南西方海上より中國西部に進み二十九日朝は土佐に正午には本州中部に到り其後漸次崩れた。このV状低壓部の前面では比較的廣區域に降雨があつた。廣島では氣壓は二十六日夜より下降し二十八日十七時に最低七百五十五耗八に低下した。風は二十八日二十四時前より急に稍強くなり二十四時には南西風四米/秒九吹いたのが最も強かつた。この日二十一時より二十三時迄は全く風なく其以前とても時々風力軟風となつた位である。雨は二十八日一時五十分より降り出し十三時より十四時迄で雨勢強烈にして十七時三十分迄で降續し、十七時四十六分より断續して翌二十九日一時四十三分に全く歇んだ。總雨量五十六耗二。一時間の最大量は十四時の十三耗二を最とする。今縣下にて雨量五十耗以上をはかつた地名を列舉すると。

	耗		耗		耗	
高坂	76.0	八幡	58.0	中黒瀬	50.7	
可部	64.2	上瀬野	55.0			
伴	60.0	尾道	51.6			
吉川	58.5	西條	50.8			

5 五月二十日二十一日の豪雨 二十日高氣壓は本邦東方洋上にあつて梅雨期の高氣壓の位置を占めた。不連續線は六時には滿州中部の低氣壓の中心より南下し江陵沖より南西へ濟州島附近に副低氣壓を経て錢塘江口の低氣壓に連つてゐたが北方の低氣壓は早く東進し南方のものは徐々に東北東へ進んだ。それで二十日の降雨は高氣壓と低氣壓との中間(低氣壓の方には近いが)に於ける降雨で二十一日も殆んど同様であつたが、ただ二十一日は高氣壓は小笠原島方面に移り錢塘江口より來た低氣壓が支那東海北部より東進して來り(低氣壓性の降雨も交つて居た點が異つて居る)此日不連續線は本州を縦走し殊に六時には更に數條の枝が北東より南西へ延び全土をあげて豪雨の襲ふ所となつた。廣島では氣壓は十八日より徐々に下降し二十二日三時に最低七百五十五耗六に達した。風は二十日も二十一日も南々西風最も多く次は南西風でその他の風向は一回もなかつた。二十日には二十二時及び二十三時に和風、二十一日には一時と六時とに和風だつただけで其他は軟風以下であつた。最も強かつたのは二十一日六時の南西風四米/秒五であつた。雨は二十日には〇時五十五分より降出し終日歇まず二十一日も降續し二十二

日四時十五分全く歇んだ。此間二十一日六時前後には雨勢強烈となつた。雨量は兩日とも各四十七耗二で一時間の最大量は二十一日の七時に於ける八耗九を最とする今縣下に於いて二十日十時より二十一日十時迄の間に五十耗以上の雨量あつた地を列舉する。

	耗		耗		耗		耗
君田	100.0	嚴島	80.5	中黒瀬	51.2	伴	50.0
中野	94.7	海田市	60.0	三次	50.5		
西城	93.5	帝釋	60.0	西條	50.4		
都谷	83.0	可部	53.5	上瀬野	50.0		

6 六月十六七日の豪雨 高氣壓は十六七兩日とも小笠原島方面にあつて七百六十耗を示して居た。低氣壓は十六日には揚子江下流域のもの(七四八耗)は東進して支那東海北部に來り、濟州島附近にあつたもの(七四九耗)は玄海灘に來り日本海北部のもの(七五二耗)は北海道西岸にせまり東海道沖のもの(七五二耗)は房總沖に進んだが孰れも淺薄なものであつた。そして七百五十四耗の等壓線は北海道西岸沖より北陸沖に延び若狭灣西岸より畿内に入り四國山脈沿ひに西進し九州北部を西へ五島烈島の東方より南西へ支那東海を經て福建省に延びて居た。十七日には前日の低氣壓は殆んど影をひそめ七百五十耗の等壓線は六時には沿海州の海岸を南西へ咸鏡北道沖より日本海西部朝鮮石川縣畿内以西支那東海北部に亘りて灣入し黃海西部より揚子江下流域に延びてゐたが十二時には同等壓線は沿海州より朝鮮東岸沿ひに南下し東へ迂回して北陸中國四國九州北部を圍み朝鮮西岸を北上し黃海を南西へ揚子江流域に延び十八時には遂に七百五十耗の等壓線は中國近畿北陸日本海南部を圍むに至つた。不連續線は朝鮮では半島の軸に沿ひて走り九州より本州中部にかけては西南西より東北東へ走り關東地方にては南西より北東へ走つてゐた。此兩日滿州方面には深い低氣壓(七四〇耗以下)があつた。廣島では氣壓は十四日夜より下降し十七日三時に第一の最低(七四九耗一)に達し、其後僅かの昇降を示して十四時に第二の最低(七四九耗一)に達し、それより上昇した風は極めて弱く十六日には二十時の北風二米/秒○、十七日には十九時の南西風二米/秒七が最大だつたに過ぎない。雨は十五日十七時十分より降り初め二十一時十分迄で断續し二十二時十五分より降續し十六日には歇むことなく十七日四時十分に一旦小歇んだが四時三十五分より断續し十九時二十九分に全く歇んだ。此間十六日には四時より五時迄及び十九時より二十時まで十七日には一時より二時迄は

雨勢強烈で各一時間に十耗以上をはかり前者は十一耗二、中者は十二耗三(十六日の最大時量)後者は十六耗四(十七日の最大時量)あつた。十五日の雨量は三耗九に過ぎなかつたが十六日は七十六耗〇あり十七日は四十六耗六あつた。今縣下に於て降初めより十七日十時迄に百耗以上の雨量のあつた地を列舉する。

	耗		耗		耗		耗
高坂	207.0	小泉	127.5	伴	114.0	忠海	105.0
本郷	163.9	上下	125.5	川西	114.0	尾道	105.0
西城	155.1	十日市	122.9	吉舎	112.4	三次	102.1
神田	135.0	甲山	121.3	松永	111.9	吉田	101.7
吳	133.0	油木	118.4	可部	111.5	大朝	101.1
壬生	130.5	御野	117.5	小國	111.0	筒賀	101.0
君田	130.0	都谷	117.0	三良坂	110.0	嚴島	100.0
西條	127.6	庄原	114.4	府中	109.2	久友	100.0

7 六月二十日乃至二十二日の豪雨 二十日高氣壓(七六二耗)は小笠原島の南西方洋上にあり颶風(七四六耗)は石垣島の北方にあつた。七百五十八耗の等壓線は六時には九州北西岸より中國山脈沿ひに東走して居り、正午には少し北へすり對馬より山陰海岸沿ひに東へ延びて居たが十八時には南下して九州中部を北へ大分邊より山陽北部を東へ走つて居た。そして九州北部以東本州中部に至る地方では此等壓線と七百六十耗の等壓線との中間で前者に近い地方に未明より雷雨があつて豪雨を傾注した。二十一日には高氣壓(七六〇耗)の位置は前者と大差なかつたが颶風(七四二耗)は支那東海を北上し同海北部に達し不連續線は九州北部より内海及び四國を東進して居た。二十二日には高氣壓(七五八耗)は小笠原島の南方に移り颶風は東進して六時には内海西部に來りそれより北東へ進行し十二時には能登半島に迫り十八時に佐渡に近づいた。頃は最も發達して居たが二十三日には秋田に到り漸次衰へた。此颶風のため石垣島以北奥羽に至る地方にては暴風雨となり内海新潟縣等にては被害を見るに至つた。本縣にては出水し被害があつた。廣島では氣壓は十七日以來上昇を續け二十日十二時、十四時及び十五時に最も高く七百五十九耗九となつたが其後下降し二十一日二十四時には七百四十九耗となり二十二日六時に最低七百四十一耗三に達した。風は二十日には南西風二十一日には北風多かつたが風力は軟風に過ぎなかつた。二十二日には北々東風最多にして北風之について多かつた。風力は九時迄は一米/秒五が最大であつたに過ぎなかつたが九時過より急に風勢加はり十時には和風となり十三時に一時軟風となつたが十四時には疾風となり十五時に最大(北風六米/秒六)に達した。十六時より十八時

までは四米/秒内外だつたが十九時より軟風となつた。雨は十九日二十二時三十八分より降り出し二十日は終日降續し二十一日十七時十分に至り一旦小歇んだが十八時三十八分より再び降り出し二十一時四十分歇んだ。然るに全時五十九分より又復降出し二十二日八時五十一分に及んだ。そして九時五分より十分間微雨を名残りに連日の豪雨は一先づ終りを告げた。此間二十日には五時十九分より十一分間二十一日には二時より四時迄及び六時より七時迄で二十二日には〇時より一時迄及び四時より六時迄の間に屢々豪雨臻りければ二十日六時には九耗七、二十一日七時には十五耗四、二十二日一時には十九耗八(以上は孰れも其日の最大時量)をはかつた。此外前記時間内にては一時間に十耗以上あつた。日量は二十日は百十九耗五で本月中の最大日量であった。二十一日は百七耗四、二十二日は六十二耗五であつた。縣下各地では此期間各日とも五十耗以上をはかつた所が多かつたが日量八十耗以上あつた所を列記する。

二十日 (こゝでは特に十九日十時より二十日十時までの分)

	耗		耗		耗		耗
吳	136.2	川西	91.0	久友	85.5	中野	81.4
筒賀	115.0	上瀬野	90.0	可部	84.3	尾道	80.0
吉舎	108.4	都谷	90.0	加計	83.0	柄	80.0
吉田	97.0	上下	88.6	壬生	82.5		

二十一日 (こゝでは特に二十時より二十一日十時迄の分)

	耗		耗		耗		耗
海田市	140.0	伴	132.0	甲山	100.2	中野	85.7
本郷	140.0	久友	123.0	尾道	99.0	忠海	84.0
中黒瀬	137.9	神田	118.0	都谷	97.0	松永	80.7
吉川	136.0	小泉	113.2	加計	95.0	壬生	80.5
西條	132.7	筒賀	113.0	吳	89.3		
可部	132.0	井原	100.2	吉田	88.5		

二十二日 (こゝでは特に二十一日十時より二十二日十時迄の分)

	耗		耗		耗
加計	104.0	可部	88.0	伴	84.5

8 六月二十七日の豪雨 二十六日南支那に現はれた颶風は二十七日には支那東海北部より玄海灘を経て内海を通過し二十八日朝は東海道沖に出で同夜犬吠岬の遙か東方へ去つた。これが爲め九州四國本州では雨天となり岬角では風力强大となつた。廣島では二十六日夜より氣壓下降し二十七日十六時及び十七時には最低

七百五十一耗四に達した。風は北寄りの風が多かつたが十時の二米/秒二が最大であつたに過ぎない。雨は二十七日一時二十九分より降出し十七時五十七分に歇んだが九時、十一時、十五時には各十一耗以上はかつた。總量は百二耗四で最大時量は十五時の十一耗を最とする。此日縣下で八十耗以上の雨量あつた地を列記する次の通りである。

吳	耗 129.4	吉川	耗 106.6	伴	耗 90.0	忠海	耗 85.5
小泉	129.3	西條	104.2	神田	89.0	甲山	80.2
加計	122.0	久友	102.5	井原	87.3		
本郷	114.6	松永	94.7	府中	87.0		
中黒瀬	111.1	海田市	90.0	市	86.8		

9 六月三十日より七月一日に亘る豪雨 兩日とも高氣壓(七六〇耗)は小笠原島方面にあり低氣壓は三十日六時に日本海にありたるもの(七四〇耗)は同日午後北海道を通過して一日オホーツク海に去つたが三十日十二時には日本海西部に微弱なる高氣壓(七五四耗)あつて十八時には日本海南部にあり二日十二時にはなほ日本海南西部に十八時には同北部と内海西部にあつて不連續線は九州以東東海道に延び廣島附近にては或は内海を或は中國山脈沿ひに走つて居た。そして高低氣壓の配布が極めて複雑だつたので至る所に副低氣壓の發生し諸所に豪雨を傾注した廣島では氣壓は二十九日朝より下降し三十日十五時に最低七百五十一耗六に達しそれより徐々に上昇したが或は昇り或は降り翌日午前中もなほ似たる状態を呈した。風は二十九日二十一時過より南西風急に吹出し二十二時過より風力和風となり三十日四時には最も強く南西風六米/秒六に達した。其後十四時迄は和風だつた時が多く十五時より十七時までは軟風となつたが十八時十九時は五米/秒以上となつた。この時までは南西寄りの風だつたが二十時より北に轉じ二米/秒以下となつた。一日には七時迄は風弱く八時より南西寄りの軟風吹き十三時に南風三米/秒八だつたのが最大であつた。そして十七時以降は静穏となりただ二十時と二十一時に南西風二米/秒内外に上つたに過ぎなかつた。雨は二十九日には五時五十分より降り始め断續して二十時十六分に至つた。此雨量八耗三。三十日には二時五分より降出し十七時二十分迄で断續し同四十六分より復降り出し翌日十時三十分迄断續した。十一時二分又復降出し二十一時二十四分一旦小歇んだ。そしてまた二十三時十二分より八分間降雨あつた。二日には〇時十分より四時五十分迄で雷雨があり五時四十九分より八時三十五分迄微雨降つた。此間三十日十五時二十

七分より十六時八分迄、十六時二十分より全二十八分迄十九時十五分より全二十分迄二十二時四十五分より一日〇時二十五分迄、二時十分より三時十五分迄、六時三分より同十五分迄、二日一時三十七分より同五十五分迄、二時十二分より全二十分迄、同四十五分より同五十五分迄は雨勢強烈であつた。それで三十日十六時二十三時二十四時一日三時二日二時には十耗以上の雨量あり就中三十日二十四時には二十一耗七(月中の最大時量)、一日三時には二十一耗八もあつた。三十日の總量は七十七耗三で一日は八十耗四、二日は十九耗九であつた。今縣下に於て三十日に百耗以上一日に五十耗以上あつた地を列記すれば次の通りである。

六月三十日

神田	耗 200.6	油木	耗 134.4	府中	耗 129.6	中黒瀬	耗 108.3
尾道	198.8	十日市	132.5	中野	121.4	御野	106.0
上下	150.1	伴	131.0	吉田	119.0	加計	105.0
吉川	141.8	庄原	130.7	市	118.5	小泉	105.0
西條	140.0	甲山	130.3	井原	112.1		
三良坂	138.0	川西	130.0	海田市	110.0		
吉舎	137.5	小國	124.0	可部	110.0		

七月一日

	耗		耗	耗	耗
吳	91.6	廿日市	65.0	中黒瀬	58.4
都谷	85.0	吉川	64.0	西條	56.9
				小泉	55.0
				本郷	54.1

これがため本縣では出水被害を見るに至つた。

10 七月五日の豪雨 五日六時には低氣壓(七五〇耗)は黄海南東部にあり副低氣壓(七五二耗)は對馬の北方にあつて九州北部より近畿にかけて二條の不連續線が東西に走つて居た。十二時には中國四國以西黄海南東部にかけて四個の副低氣壓(七五〇耗)あり十八時にはこの副低氣壓群は少し東進して其前端は紀伊の半島に迫り六日には伊豆七島を経て犬吠岬の東方洋上へ去つた。これがため九州以東奥羽南部に至る地方は雨天となつた。高氣壓(七六〇耗)は五日には東海岸沖より小笠原島方面にかけてあつた。廣島では氣壓は四日より下降し五日には十九時より二十二時迄で最も低く七百五十一耗二となつたが二十三時二十四時には僅に〇耗一上升し翌六日一時には下降し同四時には最も低く七百五十耗六となつた。風は弱く七時の北々東風二米/秒七が最大だつたに過ぎない。雨は四日二十一時二十分より降り初め断續して五日〇時二十九分に至つた。そして〇時五十五分よりまた

降出し時々雨勢強烈となり十五時五十分迄降續した。十五時五十八分又復降出し十八時三十分一旦歇んだが同五十分より二十一時十五分までまた降雨した。六日には一時五十八分より四十七分間微雨降つた。雨量は四日には〇耗三、だつたが五日には百八耗あり殊に八時より十一時までは雨勢強烈で毎時十耗以上をはかり九時には十八耗九あつた(此日の最大時量)。六日は〇耗〇であつた。今縣下に於て雨量八十耗以上あつた地を列舉する。

	耗		耗		耗		
豊 島	171.2	可 部	91.0	小 泉	84.0		
西 條	105.6	久 友	87.3	東 城	83.0		
中 黒 潤	96.5	海 田 市	86.5				
吳	95.7	井 原	84.5				

11 七月十一日及び十二日の豪雨 十一日北太平洋上の高氣壓の西縁(七六〇耗)は呑狀を呈して四國と小笠原島との間に擴大して來て居たそして六時には七百五十四耗の等壓線は日本海南西部を東へ北陸西部の沖合を迂回して中國山脈沿ひに南西へ九州北部を斜断して支那東海東部を南西へ延びて居た。十二時には不連續線は九州北西岸より山陰沿海岸を經て北陸沖に亘つてあつたが十八時には少し南下して九州北部より内海を經て北陸沖に來り十二日六時も大差なく十二時及び十八時には南鮮より山陽に亘つてあつた。それで別にこれといふ低氣壓は無かつたが各所に極めて淺き副低氣壓の發生を見た。風は南海岸地方では強疾風吹いたが内陸部では極めて弱かつた。廣島では氣壓は十一日には三時に最低(七五三耗九)起りそれより時を経るに従ひ上昇し二十二時に最も高く(七五八耗二)なり、十二日は一時と四時とに最も低く(七五七耗四)、二十時に最も高かつた(七五八耗五)が其差は僅に一耗一で且幾多の極大極小が現はれた。風は十日二十時過より南西の風急に強くなり和風となり二十四時より十一日四時までは弱くなつたが五時には疾風となり七時、八時、十時も疾風其他の時刻には十二時迄は和風だつたが十三時以降は軟風となり十九時より静穏となつた。風向は南乃至南西で、十時の南々西風六米/秒八を最大とする。十二日は風弱く十四時の西南西風三米/秒三を最大とし十一時に二米/秒五吹いた外は孰れも一米/秒未満であつた。雨は十日には二時五十七分より降初め二十時四十五分まで降つたが此間十五時二十四分より二十二分間は歇んで居た。此雨量十四耗二。十一日には五時四十分より降出し八時より十時過迄は屢々雨勢強烈となり九時にも十時にも十二耗以上の雨量をはか

つたが十八時四十分一旦歇んだ。十九時より二十一時五十分まで斷續し二十二時三十分より復た降出し十二日二十一時三十五分に至つて歇んだ(但し十七時五十三分より二十五分間は歇んで居た)。此間十二日一時三十五分より四時十五分迄は雨勢極めて強烈にして二時には十五耗六、三時には實に三十六耗〇(月中の最大時量)をはかり四時にも二十三耗六あつた。十三日には殆んど終日弱い雨が斷續した。雨量は十一日には五十八耗三、十二日には百五耗七あつたので出水被害を見るに至つた十三日には僅に一耗七に過ぎなかつた。今縣下に於いて十一日に五十耗以上十二日に八十耗以上の雨量をはかつた地を列舉する次の様である。

十一日(こゝでは特に十日十時より十一日十時迄の分)

	耗		耗		耗		耗
比 和	124.0	西 城	95.0	川 西	78.0	吉 和	69.0
十 日 市	108.0	可 部	90.0	吉 田	75.0	井 原	67.5
都 谷	106.0	伴	90.0	三 次	69.5	三 良 坂	62.0

十二日(こゝでは特に十一日十時より十二日十時までの分)

	耗		耗		耗		耗
上高野山	200.7	十 日 市	124.5	吉 田	113.0	井 原	98.2
比 和	190.0	中 野	123.0	三 良 坂	113.0	小 泉	96.7
海 田 市	175.5	庄 原	121.6	東 城	105.6	都 谷	96.0
吉 川	169.0	小 國	121.0	市	101.3	本 鄉	94.4
西 條	141.8	可 部	120.0	川 西	101.0	府 中	85.0
吉 舎	138.9	油 木	116.5	三 次	100.5		
四 城	125.1?	神 田	113.5	甲 山	99.0		

12 七月十四日の豪雨 十二日楊子江下流域にあつた低氣壓(七五〇耗)は十三時には支那東海北部より朝鮮海峡を通過し十四日六時には能登沖に來りそれより北東へ進行して同日十八時には津輕海峡の西方にいつた。これがため九州以北の地は雨天となつた。十四日には七百五十四耗の等壓線は甚しく右曲左折し不連續線は九州北部より内海近畿北部に亘つて存し淺薄な副低氣壓は各所に發生した影跡がある。高氣壓(七六〇耗)は本邦の東方洋上にあつた。廣島では氣壓は十二日夜より下降し十四日には十一時の七百五十三耗が最も高く十八時の七百五十二耗三が最も低く其差は僅に一耗四に過ぎず且一日中の昇降の變化は不規則であつた。風は十四日には南西寄りの風弱く十時の南々西風三米/秒八を最大とし五時、九時、十五時、二十時二十一時に軟風だつた外は孰れも一米/秒以下であつた。雨は十四日には〇時四十二分より降出し一時五十分一旦小歇み二時十七分より復降出し二

十時五十五分迄降續した。此間十四時十分より十五分間、十七時三十三分より二分間、十八時五十五分より十分間は雨勢強烈であつた。雨量は八十二耗入で最大時量は十五時の十二耗六である。今縣下で七十耗以上の雨量をはかつた地を列記する。

	耗		耗		耗		耗
比 和	106.0	東 城	92.3	甲 山	80.7	十 日 市	74.3
西 條	96.5	都 谷	92.0	巖 島	80.0	海 田 市	73.3
吉 川	94.0	神 田	97.8	伴 件	77.0		

13 八月三十一日の豪雨 二十七日沖縄島の南西方洋上に現はれた低氣壓は二十八日には北上し二十九日支那東海東部を通過して三十日午後九州の南西方に來りし頃には大に發達して七百四十耗以下となり三十一日朝には熊本縣に上陸しそれより内海を通過し九月一日北陸に到りし頃は衰へ其後北西海岸沖を北東へ二日北海道東部を經てオホーツク海に去つた。この低氣壓は關東大震火災に多少の關係を有するものと認めらるるものである。廣島では氣壓は三十日朝より徐々に下降し三十一日十六時に最低七百四十五耗五に低下した。風は三十一日三時迄は靜穏であつたが四時より北よりの軟風となり七時前より東北東風となるや風力和風となり九時過より北東の疾風となり十一時に最强東北東風七米/秒六に達したが十一時四十分過より和風となり十五時より軟風となり十七時には静穏となつた。雨は三十一日〇時五十三分より降り初め十八時四十五分に歇んだが十五時と十六時の間には雨勢強烈となり十一耗三をはかつた。總雨量は六十一耗七であつた。今縣下に於いて此日雨量五十耗以上あつた地を列記する。

	耗		耗		耗		耗
中 野	125.0	吳	82.9	比 和	70.2	庄 原	60.5
伴 件	101.0	御 野	78.9	西 城	70.0	松 永	59.0
津 田	99.3	東 城	76.4	府 申	69.9	神 田	58.4
都 谷	98.0	小 泉	73.7	柄 久	68.0	久 井	58.0
加 計	97.9	久 友	72.0	吉 川	65.0	甲 山	54.0
油 木	97.3	吉 田	71.0	市	64.2	十 日 市	52.1
西 條	90.4	可 部	70.3	中 黒瀬	61.7	高 坂	50.4

此中には三十日夕刻にあつた雷雨の量をも含んでゐる

14 九月五日の豪雨 三日朝楊子江口に現はれた低氣壓は支那東海北部を通過して四日には濟州島と對馬との中間に來りそれより朝鮮海峡を經て五日朝日本海中部に到り漸次埋積した。廣島では氣壓は四日正午より下降し十八時に最低七百五

十四耗に達し午後上昇し二十一時には百五十五耗一となり其後僅に下降し二十四時より五日二時迄は低くて七百五十四耗九となつたが三時四時には〇耗一上昇し五時より上昇稍顯著となり二十三時及び二十四時に最も高く七百五十九耗二となつた。風は四日には極めて弱く三時の北々東風二米/秒四が最も強かつたにすぎない。四日二十二時より五日七時迄の間に於いて三時に北風一米/秒五吹いただけで其他は全く靜穏であった。そして五日には十三時の南風四米/秒九が最も強く其他は軟風以下で静穏が十時間もあつた。雨は四日には六時二十七分より降り初め二時三十五分一旦小歇み二十時四十二分より二十二時四十五分迄断續し、二十三時二十四分より又々降り出し五日一時三十二分より十四分間、一時五十四分より五十一分間二時五十八分より二十五分間、三時二十六分より九分間は所謂覆盆の勢で降り注ぎ四時二分全く歇んだ。五日には二時三十一分より三時三十五分迄頂天附近にて雷光ものすごく雷鳴しきりに起つた。雨量は四日には十七耗五であつたが、五日には七十八耗七でそれが僅に三時間に降つたのである。即ち一時には〇耗二にすぎなかつたが二時には十五耗四、三時には實に三十四耗の多量をはかり四時にもなほ二十九耗一があつた。今縣下に於いて雨量五十耗以上あつた地を列舉する。

	耗		耗		耗		耗
海 田 市	97.3?	津 田	80.6	加 計	50.3	都 谷	50.0
巖 島	61.0	甲 山	53.0	可 部	50.0		

15 九月中旬の颶風 十二日小笠原島の南西方洋上に現はれた颶風は北西へ進み十四日には北上し十五日朝室戸岬沖に來りし頃には最も發達し七百三十耗となつた。そしてそれより進路を北東へ轉じ紀伊東海道を通過し十六日に東海岸へ去つた。廣島では氣壓は十二日より漸次下降し十四日十一時より七百五十耗を下り十五日六時に最低七百四十一耗三に達したがその後上昇し十六日九時には七百五十耗となつた。風は十四日には北々東風最多にして十三時の北風四米/秒三が最大であつたが、十五日には六時迄は北々東若くは北東の軟和風であつたが七時以後は北風となり十一時より疾風となり十三時に最强(北風九米/秒六)に達した。其後十八時迄は疾風吹き十九時に一時軟風となり二十時再び疾風となつたが二十一時よりは和風若くは軟風となつた。雨は十四日には十六時二分より一分間降つてやみ十六時五十七分より降續し翌十五日五時三十六分一旦小歇んだが六時五十分より

復た降出し九時四十五分迄で断續した。雨量は十四日には三耗六・十五日には二耗二に過ぎなかつた。今縣下に於て此兩日に亘り五十耗以上の雨量あつた地を列記すると

	耗		耗		耗		耗
帝釋	110.0	油木	79.4	小泉	68.7	東城	63.0
尾道	101.8	市	74.1	御野	66.9	本郷	54.0
柄松	95.0	高坂	70.7	福山	64.5	府中	51.5
永忠	88.5	忠海	70.0	甲山	63.5	西城	50.8

即ち本縣では安藝南東部備後南部及東部に多量の雨を見たが安藝西部では著しく少なかつた。

16 九月二十一日の豪雨 二十日朝低氣壓は日本海と木浦沖にあつたが二十一日朝は前者は北海道の南東方洋上へ去り後者は山陰沖に來た。この外南海沖と奄美大島の北西方洋上にも別個の低氣壓があつて東北東へ進行してゐた。この朝不連續線は一は南鮮より山陰沖に亘り、他は南海岸沖にあつた。廣島では二十日拂曉雷雨あり、雨は一時六分より十四時十分まで断續した。此雨量八耗四。そして十八時五十五分に遠く西北西に電雷起り十九時十八分に北西に移り同三十四分北東に轉じ三十五分に歇んだが其後も北東方で頻りに電光閃いてゐた。而して二十三時三十二分より又復南西に電雷起り漸次強くなり二十一日三時頃より一層強くなり四時五十四分には漸然激烈なる電雷ありて睡眠中のものも目を醒ますに至つた。其後もなほ歇まないのみならず五時二十三分には前の烈雷にもまして激烈な電雷があつてこの前後二回のものは誰れにも落雷を想はしめた。廣島市内では猫屋町の電柱に落雷したがこれは恐らく第一回の激雷の時のことであらう。又五時二十三分電燈が消えたが是れ廣島電氣株式會社の門柱の傍の電柱が焼けたによるもので丁度二度目の激雷のありし時と殆んど同時のことであつた。當業者の言に寄ると落雷して發火したのではなく豪雨のため油箱に雨水が浸入したために發火したのであるとのことである。(併し此の時は雨はそんなに強くなかつたのである)さて人々を恐怖せしめた強烈な電雷も五時四十分頃は少し間をおくようになり同五十二分よりは弱くなり六時六分に全く終息した。雨は二十一日には〇時四十六分より降り出し一時十三分より九分間強かつたが一時五十分一旦歇み、二時十七分より復た降り出し三時二十七分より四十分間強かつたが六時五十分に至つてやんだ。此雨量は五十九耗五で四時には實に三十九耗四をはかつた。これ月中の最

大時量である。其後十時四十八分より又復降り出し断續して二十一時十八分に至り全く歇んだが雨量ははかるに足らなかつた。氣壓は十九日九時には月中の最高七百六十七耗五を示してゐたが其後下降し二十日二十四時には七百五十九耗八に下り二十一日一時には七百六十耗となつたがそれより四時迄は毎時〇耗五宛下降し四時より五時迄には〇耗二更に低くなり五時には七百五十八耗三となつたそれより少し上昇し八時及び九時には七百五十九耗に上つたが午後再び下降し十四時には此日の最低七百五十七耗三に達した。風は二十日二十時より二十二時迄は静穏二十三時より南西風あるかなしかであつたほど弱いものであつた二十一日には一時に南西風二米/秒となつたもつかの間、二時三時には南風一米/秒以下となり四時には南々東風二米/秒二吹いたが五時には風向は變らざるも風速度は一米/秒以下となつた。風向は六時には南にもどり七時よりは南々西風となつたが風力は時々軟風となるに過ぎなかつた。そして十三時より風向北々東に轉するや風勢稍強くなり十六時には最强北々東風四米/秒二に達した。今縣下に於て雨量五十耗以上あつた地を擧げると。

	耗		耗		耗		耗
吉川	149.0	海田市	98.0	嚴島	65.0	久井	57.0
西條	118.8	吳	77.2	西城	57.2		

17 十月二十日の強風 十九日黃河下流域に現はれた驟風(七五〇耗)は北東へ進行し二十日朝には南滿に來たがこの時黃河南東部・城津沖・紀州沖等にも前の低氣壓があつて孰れも北東へ進行した。廣島では氣壓は十八日九時には七百七十一耗一であつたがそれより下降し二十日十三時には七百六十耗に下り十八時に最低七百五十八耗五に達した。風は二十日には九時迄は北東の風弱かつた。それが十時より西の風となりまた弱かつたが十一時過に南々西に轉するや急に風勢募り十二時には九米/秒二となり十三時には南の和風に落ちたが十四時には最強南西風十米/秒一に達し十五時にもなほ九米/秒九あつたが十六時には辛して疾風、十七時には軟風となつた。雨は二十日十四時三十一分より降り出し十九時二十五分に歇んだ。此雨量十七耗八。此日縣下で五十耗以上雨量あつた所は一箇所もなかつた。

18 十月三十一日の強風 三十日朝支那東海西部にあつた低氣壓(七五四耗)は三十一日六時には濟州島の東方に來りそれより朝鮮海峽を通過して日本海に入つたが高氣壓は滿州より北支那に亘つて存し七百六十七耗に上つてゐた。廣島では氣

壓は二十九日より徐々に下降し三十日十二時より十六時迄は七百六十耗以下となつたがその後上昇し三十一日八時には七百六十二耗五に昇つた。しかし十三時は七百六十耗を下り十九時に最低七百五十六耗一に達した。風は三十一日午前中は静穏であつたが十三時過より急に吹出で十四時には南々西風六米/秒九となり十五時にもなほ南の疾風だつたが十六時には軟風となり十七時には静穏となつた然るに十八時過より復た風勢頓に加はり十九時には最强南々西風十一米/秒八に達し二十時にもなほ強風であつた。そして二十一時より疾風となり二十四時には和風となり翌十一月一日二時には西の軟風に落ち三時より静穏となつた。雨は三十日四時六分より降り初め終日断續した。(九時十五分南西方で微雷一回あつた)。三十一日には〇時三十八分より降り出し十一時四十三分一旦小歇み十二時五十五分より又復降出して十九時四十五分に至つて全く歇んだ。雨量は三十日には十七耗六。三十一日には十九耗七あつた。

19 十一月十三日の強風 十二日朝北支那に現はれた寒風は東進して十三日朝には日本海北部に來り大に發達し七百三耗となり十四日オホーツク海へ去つた。廣島では氣壓は九日十時には七百七十耗八であつたがそれより下降し十二日十一時には七百六十耗となり十三日十三時に最低七百五十四耗二に低下した。風は十二日には七時の北々東風三米/秒一が最も強いに過ぎなかつたが、十三日には一時過より急に南西風強くなり二時には和風三時より疾風となり五時より西南西風となり一時和風となつたが六時には再び疾風となり七時には西に轉じ軟風となつたも東の間八時には西風十三米/秒八に達し其後時々疾風となつたが多くは強風で十五時四十分には最强西風十四米/秒九に達し、十七時二十分まではなほ強風を持続したが十八時には疾風となり十九時より和風となり翌十四日一時及び二時には軟風となつた。そして三時にはまた和風となり四時には疾風となつたが五時よりは軟風となつた。雨は十二日には二時十二分より六時二十三分まで断續し八時より十九時三十五分まで降續した。此雨量十一耗六。十三日には五時五十分より断續し十四時二十分に全く歇んだ。此雨量僅かに〇耗三。

20 十一月二十日の低氣壓 十九日朝咸鏡道沖にあつた低氣壓は二十日には北海道の西方海上を北上し二十一日未明樺太中部を通過して午後オホーツクへ去つた廣島では氣壓は十六日夜は七百七十耗以上であつたが十七日四時過ぎより七百七十耗以下となり、としごし下降し十九日十三時には七百六十耗を下り二十日一時

に最低七百五十六耗一に達した。其後上昇を初め七時より七百六十耗以上となり十一時には第一の極大現はれ十二時には第二の極小現はれたが十三時よりは上昇をつけ二十一時には七百六十五耗を超えた。風は十九日には九時の北東風四米/秒九が最も強く多くは軟風若くは静穏であつたが二十日〇時過より急に南の疾風強く吹き出し一時半頃には風向西に轉じ三時には最强西北西風九米/秒七に達した。其後四時四十分迄はなほ疾風吹き五時には和風となり七時より九時迄は軟風となつたが十時には和風となり十一時より更に風力増大して疾風となり十四時には第二の最强西北西風九米/秒一に達した。そして十五時には西の疾風だつたが十六時には和風となり十八時に風向北々西に轉ずるや風勢頓に衰へて軟風となり十九時より更に北に廻るや静穏となつた。雨は十九日二十三時五十五分より降り初め二十日〇時四十分迄で断續した。此雨量僅に〇耗一。その後八時三分より同五十四分迄で再び微雨断續、十五時二分より八分間、十八時四分より二分間 微雨あつたが孰れもはかる程の量はなかつた。

21 十二月二十二日の強風 二十一日朝滿州中部にあつた寒風は二十二日朝は北海道南西部に到り其後急激なる發達を遂げ二十三日千島に於て七百三十耗臺に低下した。この外二十一日朝黃海東部にあつた副低氣壓は東進して二十二日佐渡の北西方に到りそれより奥羽を通過して二十三日太平洋へ去つたものがあつた。此寒風の後方支那大陸では高氣壓が發達し七百六十七耗以上となつた。廣島では氣壓は二十日八時には七百七十一耗五があつたがそれより下降し二十一日十七時には七百六十耗を下り二十二日五時、十五時及び十六時に最も低く七百五十五耗八に達した。風は二十一日には六時の北々東風二米/秒一が最も強かつたに過ぎなかつた。二十二日には九時迄は殆んど静穏であつたが九時過より急に風力増大して北西の疾風となり十一時には西の和風十二時には北西の軟風に落ちたが十三時十四時には再び北西の疾風となつた。十五時より十八時までは和風だつたが十九時には西の疾風となり二十時には最强西風十米/秒二に達した。二十一時にはなほ西の疾風だつたが二十二時には和風となり二十三時より軟風となつた。雨は二十二日には十二時十二分より同四十六分迄で断續、十三時二分より三分間凍雨を交へ其後も十五時五十八分迄で断續した。此雨量ははかるほどなかつた。そして二十時二十七分より二十一時二十四分迄で又復微雨断續したが此雨量僅かに〇耗二に過ぎなかつた。

顯著事項

1 黄道光見ゆ 十三日午後七時半に西方の空を見たるに寶玉に鏤められた天空に、山際に廣く、高くなるに従ひ漸次幅狭くなり少しく南方へ傾いたる長い圓錐形の白けた部分があつたその部分は春の好晴の日に空が白けて見ゆる時の様な白さであつた。又銀河の様なものでこの宵のものは銀河の最も光つた部分と殆んど似た程の強さであつた。これは黄道光である此頃は見るに最もよい時季である此宵のものは高さは^{タメシ}昂星の南方をすれすれに更に上方に及んでゐた。其後時を経るに従ひ漸次頂點が低くなり午後九時過には見ゑなくなつた。(三月十五日)

2 未曾有の多雨 六月中旬以來豪雨頻に傾注し諸所に被害を見るに至りたるが六月の雨量總計は實に六百六十五耗六に上り從來の月量の最大なりし明治二十二年七月の六百十耗七を凌ぐこと五十四耗九であつた。しかも雨天日數は十三日過ぎず即ち一兩日に平均五十一耗二づつ降つたことになる。これ未曾有のことである。次に一日の雨量の最大であつたのは二十日の百十九耗五であるが既往に於て斯月にこれ以上だつたことは明治三十八年全四十三年全四十四年の三回で孰れも百五十七耗以上の豪雨であつた。それで本年は六月としては第四位を占むるに至つたのである。ところが本年六月には一日の雨量が百耗以上だつたことが三日もあつた。かゝることは既往にないことである。それから一月以降六月末迄の降水量の合計が千耗以上だつたことは明治十四年同十八年同二十三年同四十四年大正三年同十年の六ヶ年で明治十八年の千三百五十二耗七が最多であつたが本年は千四百耗三で第一位を占むるに至つた。又一月より七月末迄の降水量合計が千四百耗以上だつたのは明治十八年同二十二年同二十三年の三ヶ年で二十三年の一千四百七十耗二が最も多かつたが本年は一月より七月三日正午迄の降水量の合計は千五百十五耗七に上つて既に新記録を作つてゐる。(七月三日)

3 蕪虹現はる 蕪虹(株虹ともいふ)の鮮麗なものが去る七日の夕方全天に現はれた。それは日の没した山際近くの空から御光の様に出て中央のものは天頂近くを東へ馬耳山の頂近の空に延びそれから西に向つて左斜上に向へる茜色の幅廣き光は南方の島山の上空を水平線に平行に大迂回し又右斜上へ向へる茜色の幅廣き光は北方の山脈の上空を地平線に平行に大迂回して孰れも馬耳山の頂近くの空に向つてゐた。恰度馬耳山の彼方に太陽があつて其所から御光を發してゐる様にも見れた。但し比較的よく見ることの出来る所謂太陽の御光とは色に於ては相似た

るも御光の出かたが相違してゐた。この蕪虹が現はれるごとに暴れるといふ地方がある果して然るか否かは今後の経過を見ねばどうとも言へないが今の處颶風が廣島地方に襲來する虞は断じてない。八日九日十日の夕方にも蕪虹が現はれたが、七日の様な立派なものではなく注意深かき専門家でなければそれと見得ない程度のものであつた。それに雲も可成り多く出て居たので猶更見にくかつた。それで夕方七時頃から西と東の空を注意して見れば今後も見得ることと思ふ。今回だけの経験によれば蕪虹が現はれたからさて暴れるといふことは無いと思ふ勿論沖縄島や石垣島はひどい暴れではあつたが蕪虹を見た廣島では何ともない。ただ雲が常より多かつただけの差異に過ぎない。自然に親しみ自然を理解し徒らに恐れすさりさて人力の偉大さなどと自惚れずお互に自然の觀察に意を注ぐことにしたい。(八月十一日)

4 稔有の旱天續き 今年の梅雨期には思ひ切り降つたので其後を受けて今度は思ひ切り照り續く。廣島では七月二十六日から昨十七日迄二十三日間は一滴の微雨さへも降らなかつた。昨日は今にも驟雨がありさうな空となつたが遂に降らなかつた。そして今日も午前中は快晴である今既往に於いて明治十九年の七月八日から八月二十日迄四十四日殆んど雨らしい雨の降らなかつたものが旱天續きの最たるものであつたがこの中量はかかる程なかつたがそれでも微雨の降つたことが五日あつた。さて既往に於て一滴の雨さへも降らずに晴天が續いた最も長い期間は明治十六年七月二十日より八月十八日迄の三十日間を最とし大正三年八月五日から二十二日迄及び同四年七月十三日から三十日迄の各十八日間を第二としたが本年は既に大正三年及び四年を凌いだ。(八月十八日)

(本年は八月二十一日まで一滴の雨も降らなかつたので結局 旱天續きの第二位を占むるに至つた。)

梅雨期の氣象

本年は六月十五日夜より梅雨期に入り雨降り出て連日降雨。しかも多量の雨あり二十二日午前を以て先づ霧れ日光に浴することを得た此豪雨の爲め縣下にては水害を被つた所が夥くなつた。二十三日薄曇二十四日は雲厚くなつたがそれでも日照は可成りあつた。二十五日は時々微雨降つたが量る程のことはなかつた。二十六日は辛じて晴天であつたが二十七日には再び豪雨あり多少の被害を見るに至つた。二十八日は好晴であつたが二十九日朝より又復降雨し三十日より翌七月

一日に亘り大雨あり茲に三たび出水被害を見るに至つた。二日より四日迄及び六日には日照あつたるも雨も降つた(尤も六日には量のほどもなかつた)七日は好晴なりしも大氣の状態は未だ梅雨期の特徴を脱しなかつたので八日朝から又復降雨し九日には曇少雨であつたが十日から連日雨天で殊に十一日午前には縣の北部地方に十二日未明には縣下全般に豪雨あり殊に安藝郡矢野附近に於ては慘害を被つた爲めに不幸にも諸所に於て慘害を被つた。十三日雨勢衰へ時々小穢みしち十四日には強雨屢々臻りしかば前々よりの雨と損傷せる個所及び辛じて破潰を脱れたる個所の中に多少の被害を見た所もあつた。かくの如く豪雨を頻々注いだ梅雨も十五日に至り漸く出梅した。此間實に三十日其中全く微雨だに降らなかつたのは六月二十三日、二十四日、二十六日、二十八日、及び七月七日の五日に過ぎず此他に微雨ありしも量の程雨量のなつかた日は六月二十五日と七月六日との二日あり、是等の七日を除いては孰れも相當の雨量ありて五十耗以上の降雨ありし日は六月十六日、二十日、二十一日、二十二日、二十七日、三十日、七月一日、五日、十一日、十二日、十四日の十一日を算し、就中六月二十日、二十一日、二十七日、七月五日十二日の五日は孰れも百耗以上に達し、六月二十日の百十九耗五が最も多かつた。總雨量は千百四十耗にして明治十五年全十六年の一年中の總量よりも多く。大正二年はこれよりも僅に三十四耗多きに過ぎなかつた。一兩日に平均四十九耗六づつ降つた割合となる。(雨日は二十三日を算す)

今六月十日より七月九日迄の三十日間を梅雨期と假定し此間に於ける氣象要素の梗概を述べんに、氣壓は平均七百五十五耗二で昨年に比し〇耗二、平年に比し一耗三低かつた。氣溫は平均二十一度八にして昨年より一度一、平年より〇度七低かつた。最高氣溫は六月十四日十六時の三十度を、最低氣溫は同日六時及び七月七日六時の十五度五を最とする。濕度は平均八十三%にして昨年及び平年に比し三%多かつた。降水量は八百七十七耗四にして昨年よりも三百六十七耗九、平年よりも六百二十耗(三倍四に當る)多かつた。一日中の最大量は六月二十日の百十九耗五を最とし、一時間の最大量は七月一日二時より三時に至る二十一耗八を最とし六月三十日二十三時より夜半までの二十一耗七を次とする。雨天日數は十八日を算し昨年よりも二日、平年よりも一日多かつた。雲量の平均は八・六にして昨年よりも〇・五、平年よりも〇・八多かつた。日照時數は百四十時間にして昨年に比し十八時間、平年に比し十一時間少なかつた。快晴の日は一日もなく曇天日數は二十一

日を算し昨年よりも一日多かつた。雷日數は四日あつた。要するに低温多濕にして天候は不良、そして未曾有の多雨の爲め多大の損害を被つた。

霜 雪 の 季 節

終雪 は鞆に於ける二月八日を最早とし沿海部に於ける二月二十七日之に亞ぐ内陸部では四月十三日に起つた所多く山縣郡八幡の四月十六日を最晩とする。昨年及び平年に比し沿海部では早かつたが内陸部では晩かつた。

終霜 は忠海の二月九日が最も早く尾道三次の三月十四日之につぐ三次がかく早かつたのは霧が多く且深い爲めである。しかし沿海部でも四月十四日に起つた所が多かつた。そして内陸部では五月五日に起つた所が多い。最も晩かつたのは吉和の六月五日で、中野では同三日、乃美甲山神田では同二日にあつた。二月及び三月に起つた地方は昨年及び平年に比し早かつたが其他では晩い所が多かつた。

初霜 は吉和の十月三日を最早とし中野の同十二日、油木、上下、久井、世羅郡等の同十三日之に亞ぐ。最も晩かつたのは忠海の十二月二十九日で鞆の同二十五日これについて晩いものであった。昨年よりは晩かつたが平年に比し十月前半に起つた所では早かつたが其他では晩かつた所が多い。

初雪 は中野の十一月十三日を最早とし上高野山の同十四日を次とし同三十日には殆んど縣下全般に亘つたこの時に見なかつた忠海や備後南海岸では十二月二十三日にあつた。昨年に比し晚現の所多く平年に比し安藝では早かつたが備後では晩かつた。

地 震

本年本縣に於て觀測した地震總數は三十三回で前年よりは二十七回少なかつたが平年よりは十回多かつた。全國に於ける地震發現總數は六千七百一回で此中人身に感覚あつた地震は二千七百八十六回であつた。總回數の五割は九月一日關東大震後に起つたものである。今本縣に震動を及ぼした地震中稍顯著なものに就いて述べよう。

1 一月二十日の地震 二十日十七時五十五分頃中野と伴て弱い地震を感じたが震央は山縣郡中部のように思はれるが判明しない。

2 四月七日の地震 七日二十二時三十六分廣島では微震を感じた。此地震は出雲南部に發したもので本縣全部に於いて人身に感じたが上高野山では弱震の強い程度であつた。又油木では地震と同時に地鳴を聞いた。

3 五月十三日の地震 十三日十四時十二分備後灘に發した地震は西條久友等にて微震として感じた。廣島より震源までは八十九粍。

4夜5 六月十三日の地震 十三日二十二時十七分比婆郡西半・山縣郡北部三良坂等にて微弱な地震を感じ中野では地震と同時に庄原にては地震後孰れも地鳴を聞いた。震央は藝備石國境附近である。又同日二十二時二十四分比婆郡西半で微震を感じたが震央は比和川の上流である。此日比和ではなほ他に二回地震を感じた。

6九月一日の關東穴地震 一日十一時五十九分五十二秒廣島では極めて緩慢な弱震(弱き方)を感じた。これは相模灘に發した破壊的大地震で關東に大惨害を被らしめた。(別項參看)

7 九月二日の地震 二日十一時四十八分廣島では簡単微動計に極めて大なる地震波動現はれたがこれは房州勝浦沖に發した地震で北は秋田西は徳島に至る地域で人身に感じ勝浦では一日の地震よりも強く多少被害があつた。そして小津波が起つたがその被害はなかつた。

8 九月十七日の地震 十七日二十二時三十分廣島では急激な微震を感じた。壬生でも感じたが緩慢であつた。震央は山縣郡北東部であらう。

9 九月二十三日の地震 二十三日・十二時四十二分廣島では稍急激な微震を感じた。比和・庄原・三次・油木・忠海等でも感じたが前二者では可成り強く弱震程度で庄原では地震前に地鳴を聞いた。震央は双三郡北東部なる神瀬川の上流であらう。

10 九月二十四日の地震 二十四日二十時二十七分廣島では稍急激な弱震(弱き方)を感じた。震央は馬洗川流域なる双三郡田幸村附近である。此地震は縣下全般にて人身に感じ十日市・三次・三良坂・庄原では弱震程度であつた。又油木では地震と同時に極めて弱い地鳴を聞いた。弱震部は七千八百五十方粍・微動部は六万九千五百万粍に亘つた。

11 十月三日の地震 三日二十三時二十二分廣島で稍急激な微震を感じた。吳・吉川・十日市でも人身に感じた。恐らく安藝全般に震動を及ぼしたことゝ思ふが睡眼中だつたので知らなかつたことゝ思はれる。震央は伊豫灘・周防灘との境界附近である。有感覺微震部は八万二千九百万粍に亘つた。

12 十月十二日の地震 十二日二時三分廣島では急激な弱震(弱き方)を感じ地震と同時に地鳴を聞いた。風が急に吹きあつたやうな音がして家屋が搖れ戸障子が鳴つた。廣島では睡眠中の人が目を覺ましたものが多かつた。吳・吉和・大朝

中野でも人身に感じた安藝では多分此他でも感じたことゝ思ふ。震央は周防國大島附近である。

13 十一月三日の地震 三日十三時三十一分廣島に無感覺の地震があつた。これは紀伊水道南部に發した地震である。然るに忠海では同日十三時三十分に微震を加計では十三時三十七分強震を感じたがこれはこの地震と同一であるか又全く別に起つたものか判明しない。

14 十一月二十日の地震 二十日十二時頃に比和上高野山に於いて微震を感じたが比和川上流に發したものである。

15 十一月二十一日の地震 二十一日十三時五十四分に十日市・上高野山で急激な地震を感じた。前者では微震だつたが後者では可成り強かつた。震央は神瀬川上流である。

16 十一月二十七日の地震 二十七日八時二十分に十日市・比和・上高野山で急激な微震を感じた。震央は二十一日のと大差がない。

17 十二月五日の地震 五日八時四十一分廣島で緩慢な弱震を感じた。最初東西動を感じそれが弱つたと思ふ頃に南東より北西へ前よりは強く搖れた。約二分間人身に感じた。家屋は可成り動搖し市内では掛時計の止つた所がある。地震の直前にゴーと鳴つたと言ふものがある。此地震は廣島を去る南東方百八十五粍なる土佐灣東部に發したもので本縣南部では弱震、北部では微震として感じ中黒瀬では震前五秒間位ドンドンと言ふ地鳴を聞いた。弱震部は十万二千方粍・有感覺微震部は三十六万八千七百万粍に亘つた。

18 十二月十二日の地震 十二日十三時五分廣島では稍急激な弱震(弱き方)を感じ市内幟町では二階の北側に南向きに掛けてあつた掛時計の振子の止つた所があつた。此地震は廣島を距る七十九粍なる備後因島の南東方に發したもので本縣下では弱震程度に感じた所が多い。弱震部は二万八千三百方粍。有感覺微震部は十四萬一千粍に亘つた。

第二章 廣島の氣象

廣島に於て觀測した各要素に就て其梗概を述べると次のようである。

氣壓 月平均は一月に最も高くして七百六十八粍-。六月に最も低くして七百五十七粍○であった。年平均は七百六十二粍二で昨年に比し○粍三低かつたが平年に比し○粍一高かつた。高極は十二月四日の九時及十時の七百七十六粍四で低極

は六月二十二日六時及び九月十五日六時の七百四十一耗七を最とする。

風 北々東風最も多く北風南西風之に亞ぎ、東南東風が最も少なかつた。平均風速度は一米/秒九で昨年に同じく、平年に比し〇米/秒九弱かつた。最大風速度は四月八日十二時二十分の南々西風十七米/秒五を最とする。

氣温 一月は最も低く二度八、八月に最も高く二十八度四であつた。昨年及び平年に比し三月・五月・十一月・十二月は高く四月・六月・七月・十月は低く、一月は昨年よりは高かつたが平年よりは低く二月・八月、九月は昨年より低かつたが平年より高かつた。年平均は十四度九で昨年に比し〇度二低かつたが平年に比し〇度三高かつた。最高氣温の平均は十九度八にして昨年よりも〇度六低かつたが平年よりも〇度一高かつた。最低氣温の平均は十度三で昨年に比し〇度二、平年に比し〇度一高かつた。高極は八月二十二日十三時の三十六度を、低極は二月二十八日七時の水點下八度〇を最とする。較差の平均は九度五にして平年に等しく昨年に比し〇度八少なかつた。日較差の最大は三月二十四日の十八度〇を最とする。

氣温 濕度は平均七十六%一にして昨年に比すれば一%六、平年に比すれば一%八多かつた。最濕の月は七月で八十三%二、最乾は三月で七十二%二であつた。最小濕度は五月二十八日の十四時・十五時に於ける二十八%を最とする。水蒸氣張力は平均十耗九にして昨年に等しく平年よりは〇耗四小であつた。最大は八月八日二十三時二十四時の二十四耗一を、最小は二月二十六日十一時の一耗五を最とする。

飽差の月別平均は八月の八瓦二が最大で、一月の一瓦六が最小であつた。年平均は三瓦六で最大は八月二十二日十三時の二十二瓦二である。

蒸發と降水 蒸發量は八月の二百十一耗七を最多とし十二月の三十六耗を最少とする。年總量は千八十二耗三にして昨年に比し百十五耗、平年に比し百六十四耗八少なかつた。

降水量は六月の六百六十五耗六が最も多く十二月の三十七耗四が最も少なかつた。年總量は實に二千五百四十耗九あつて、前年に比し九百八十耗三、平年に比し千二十耗九多かつた。斯くの如き多大の降水量は本所開設以來の新記録で爲に多大の洪水被害を見た。最大日量は六月二十日の百十九耗五を、最大時量は九月二十一日四時の三十九耗四を最とする。

雲量と日照 雲量の月平均は七月の八・三が最多で、八月の四・九が最少である。年

平均は六・八で昨年及び平年に比し〇・五多かつた。

日照時數は二千九十二時間九にして昨年より二百八時間五少なかつたが平年よりは五十時間八多かつた。可照時數に對する百分率に就いて見るに最大は八月の七十三%で最小は一及び十二月の三十七%であつた。年平均は四十七%で平年と殆んど等しく昨年よりも五%小であつた。

地溫と井水溫 地面溫度は一月の三度八が最も低く、八月の三十七度九が最も高かつた。年平均は十七度八にして昨年よりは〇度二低かつたが平年よりは〇度七高かつた。最低地溫は二月二十八日六時の水點下十三度一が最も低かつた。地中溫度は深さ〇米三の所では一月が最低五度四で八月が最高で二十九度九であるが一米二の深さでは二月に最も低く十度九、九月に最も高く二十三度五であり、三米の所では三月に最低で十三度六、十月に最高で十九度八を示し更に五米の深さでは六月に最も低く十四度七、十一月に最も高く十七度六であつた。

井水量は七月に最も多く、八月に最も少なかつた。井水溫度は九月に最も高く二十二度一、二月に最も低く九度五であつた。一年中の絕對較差は十三度四で昨年よりも小であつた。

天氣日數 降水日數は百五十五日を算し昨年に比し二十三日平年に比し二十日多かつた。月別日數は五月及び七月が最も多く十八日、八月が最も少なく四日であつた。

快晴日數は三十一日で昨年及平年に比し七日少なかつた。各月中で最も多かつたのは八月及び十月の六日で、三月の五日之に亞ぎ一月二月七月は皆無であつた。曇天日數は六月の十九日が最も多く七月の十八日之に亞ぎ、八月の六日で最も少なかつた。年總數は百五十八日を算し、昨年よりは三十一日、平年よりは三十三エ多かつた。

暴風日數(平均風速度十米/秒以上)は五日即ち十月に二日・一月・十一月・十二月に各一日あつただけで其他の月には皆無であつた。昨年に比し三日平年に比し十九日少なかつた。そして烈風(平均風速度十五米/秒以上)に達した日は四月に只一日あつたのみである。

霜雪 終雪は三月一日に、終霜は四月十四日に起り、前者は昨年より二十四日平年より十六日早く、後者は昨年より十六日平年より七日晚かつた。初霜は十一月二十六日にあり昨年に比し十五日、平年に比し十一日晚かつた。初雪は十一月三十

日で昨年よりは四日晚かつたが平年よりは十日早かつた。地震回数は五十回で昨年より四回少なかつたが平年よりも四十回多かつた。此中人身に感じたのは十一回で(昨年より五回多かつた)其中六回は微震、四回は弱震(弱き方)一回は弱震であつた。これ關東大地震後本縣附近に於ても起震力が盛になつたに因る。

第三章 雜 錄

大正十二年九月一日の關東大地震

九月一日十一時五十八分三十秒頃に相模灘に發した大地震は關東地方に大震火災を與へ本邦有史以來未曾有の大惨害を釀した。此日廣島でも電燈が搖かに動き人身にも弱震(弱き方)を感じた。大阪神戸邊ではからだを廻される様な風に覺ゑ眩暈を催したのではないかと思ふたことである。人身に感覺を及ぼした區域は西は中國北は北海道南端に及び、烈震部は一万四千方糸強震部は十一万三千方百震部は六十二萬八千方糸 微震部は百九萬九千方百に亘つた。震度の大なりし地方は相模灘に臨める相模安房の沿岸の地質の弱き地方にして東京にても所謂下町は山の手よりも大であつた。相模灘の海低では百間餘陥没したる所と反対に隆起した所があつた。東京・神奈川・千葉・埼玉・靜岡・山梨の一府五縣では被害著しく死傷者を出し茨城・栃木・群馬・長野の四縣にても家屋の倒潰を見たる地方があつた。又東京・横濱・横須賀・鎌倉・小田原・厚木等にては地震後火災を起したので被害高が著しく大となり就中東京・横濱・小田原等の如きは多數の死者を出し其數十萬に垂んとし倒潰若くは焼失した家屋數は三十九萬に上つた。これ全く火を發したるがためにかく多大の惨害を見るに至つたので壓死者の數は多分一萬三四千人位であろう又相模灘沿岸地方では津浪の襲來を受けた所が多く伊東・熱海・鎌倉・片瀬等では被害があつた。伊豆片浦では山津浪起り聖岳が半分押出し來り根府川・米神の部落の大半を埋没した。其他箱根舟澤山等にても山崩があつた。この地震の餘震は九月中に實に二千三百六十餘回の多きに上つた。今府縣市別に被害高を表次するごとのようである。

府縣市名	死 者	傷 者	行衛不明者	全潰棟數	半潰棟數
東京府	68,219	42,137	39,304	全焼 309,763 10,010	8,694
東京市	66,475	38,978	34,821	全焼 301,362 1,573	1,619
八王子市	3	8	—	120	235
神奈川縣	29,413	66,390	3,559	全焼 64,753 66,366	75 43,108
横濱市	23,440	42,053	3,183	全焼 58,981 11,615	68 7,992
横須賀市	520	973	125	2,696	2,006
千葉縣	1,370	2,776	—	全焼 440 流失 30,715	14,045
靜岡縣	360	1,264	64	4,890	6,337
沼津市	1	7	—	流失 733	4

埼玉縣	217	517	一	8,073	5,646
川越市	8	1	一	43	31
山梨縣	20	73	1	1,602	5,310
甲府市	3	7	一	111	139
茨城縣	5	40	一	517	628
水戸市	一	一	一	5	19
栃木縣	一	3	一	16	6
足利市	一	一	一	—	4
群馬縣	一	9	一	49	8
高崎市	一	一	一	1	—
長野縣	一	一	一	27	26
上田市	一	一	一	6	5

府縣の被害數中には市の分を含んでゐる米を附したる分には焼失棟數をも含んでゐる。九月二日十一時四十六分頃に千葉縣勝浦沖に發した地震は西は徳島北は秋田に至る地方にて感じ勝浦地方では一日の地震よりも強く多少被害があつた。又津浪もあつた。烈震部は二千三百方糸、強震部は三萬四千方糸、弱震部は十五萬七千方百、微震部は四十二萬四千方糸に亘つた。

(被害數、震域は氣象要覧による)

大地震や津浪は起らない

關東大震災のため全國の人々の神經は非常に尖つて來てゐる。此際流言蜚言を流布するものは處罰されることになつてゐるにも拘らず之を行ふものがあり從つてこれを輕信し戰々恂々たるもののが少くない。現に廣島にても字品とかに上半身は人下半身は牛所謂件といふものが現はれ本月二十六日には大地震があるとか大津浪があるとか言ふたとかにてこれを輕信し其信疑を尋ねに來るものがあるが件なる動物はどんなものか見たこともないものがこれを信するといふのが怪訝に堪へないのであるこんなものが豫言する筈はないのであるがどうしたのかこれを信じて恐怖の念にかられてゐる。地震が何日にあるといふことは誰がこれを斷ることが出來ようか、神は之を啓示すると思ふは思ふ人の勝手だが大自然に最も親しみのある吾人に對して未だ何等の啓示をもないのである況して自然を理解せず自然に親しまうともしてゐない人にいかでこの啓示がわかるであらうか。

次は津浪であるが地震の爲めに起る津浪には廣島縣では古來未だ曾て一度も襲は

れたことはないのである併し颶風の襲來の爲めに起る津浪に襲はれたことは其例が決して少くなく、去る明治三十三年八月十九日の如きはこの最も著しかつたものゝ一である。所で其の様な津浪は豫め知ることが出来る場合が少くないのであるからそしていよいよとなつてからだつて逃げる餘裕があるのでから決してかかる流言に迷はされぬ様にしてほしい。

ただかかる流言の流布につけこんで何か企つるものがないとも限らぬから此際第一番に火の用心を怠らぬ様にせねばならない。(九月二十三日)

旅行する人に對する希望

中 村 勝 次

學校は夏休みになつてはや數日を経ました。海滨に、林間に、山上に、既に愉快なる幾日かを過ごしなほ過ごさんとしつゝある人が多いやうであります。私はかかる楽しい日を過ごしてゐる人々及びこれから山に海に異つた地に旅行せんとする人々に對して注文があります。それは旅行する際に旅行に必要な品の一として少くとも寒暖計一本を加へることを忘れぬ様にしてもらいたいことであります。既に異つた地に生活してゐる人々には日々の天候と氣象の變化に不知不識の裡に支配されてゐる氣分とをその通信に書加へてもらいたい 것입니다。そして其旅行の終つた後に於てこれを纏めておいてもらいたい 것입니다。これは他日如何に貴重な材料となるかは之を利用する人に對しては恐らく他の想像以上のものであります。山上のものに就ては殊にさうであります。このことは只一夜の天幕生活をする人にも又何々アルプス踏破者に對しても同様に望むのであります。登山者が道に離れては危険に陥ることが少くないが同時に大氣の變化に對しても顧慮せねば生命を危くする否死の手に捕へられるに至ることが往々あるのであります自分がヒドイ目にあつたから他也同様なヒドイ目にあふのを見て自ら慰めんとする様な不心得な人はないであらうが、自分の苦き經驗を詳細に他に知らして他をして自分が嘗めたやうな苦い目にあはさしめないやうに注意を與へるその美くしい心のあらはれを望むのであります。冒險も科學的に計畫せられてこそ文化生活者のやるべきことである。無謀なる計畫の結果ヒドイ目にあひ辛じて生命を拾ひよき體験をしたと誇らかに語るよりは、豫め研究し企畫せられたる科學的基礎のもとに實行して危險なき旅行をした方がどれだけ體験をしたことになるかわから

ないのであります。そしてその貴き體験を一般に知らして今後同様の企畫をする人の参考に資せられたいのであります。これまでにかかる用意のもとに行はれたことがどれだけあるでせうか。

今から一昔前のこと某英人が輕井澤へ避暑する際に中央氣象臺に自記寒暖計其他の氣象器械の借用方を頼みに來たことがあります。日本人も輕井澤には可成りゐますがそんな人は一人もゐません。

攝政宮殿下が今回富士御登山について途中及び頂上の氣温が新聞紙上に載つてゐたのを見た時に私は非常に喜ばしく思ひ安心もしたのであります。そしてこの事が今後の登山者にも非常に参考になるのであります。勿論其時其日の天候に就て顧慮せねばなりませんが、颪風の本邦領域内にある時には殊にさうであります。文化生活の高唱せられる今日どうか科學的基礎の上に眞の文化生活をせられんことを切望してやまないのであります。(七月二十八日)

大正十二年十月十日乃至十二日の高潮

中 村 勝 次

十月十日乃至十二日に本縣沿海岸地方及び島嶼では正午前後の満潮が平常のそれに比し著しく高くなり沼隈郡田島村では十二日十一時十分に五尺八寸、同郡走島村では十日に五尺、豊田郡須波村では十日十一時二十十分に三尺五寸、安藝郡上蒲刈島村では十一日十一時に三尺五寸、佐伯郡津久茂村では十日に三尺五寸の過高を呈し其他にても二尺以上過高だつた所多かつた。爲に沼隈郡金江村では通路、畠等に多少の潮害を被り、賀茂郡三津町にては浸水家屋十戸を出し、安藝郡江田島村では海岸の堤塘少しく破壊し、佐伯郡高田村では道路の破損を見るに至つた。漁獲物は沼隈郡水呑村、御調郡立花村、安藝郡警固屋町、佐伯郡玖波村等では增多し、御調郡糸崎町、豊田郡木ノ江町、大崎南村、安藝郡矢野町等では減少した海水溫度は水呑村木ノ江町、大崎南村警固屋町等では高かつた。又潮流の變化を見たところは

水呑村 干満潮時に變動があつた。普通満潮の時は海水の動流なきものが今回はこれに異り潮の差引甚しかつた。(因に此村では十三日十二時三十分に二尺五寸の過高を示した。)

立花村 沖合水道の潮流關係は月の出入三合滿ちを常とするに今回の高潮期間中は月の出沒に尚ほ下げ潮の逆流があつたといふ

(因に此村では二十二日十一時に二尺の過高を見た。)

大崎南村 潮流は上にゆくのは早く下にゆくのは緩い。(因に此村では二十七日に一尺五寸の過高を示した。)

音戸町 (安藝郡)其後潮流速い(因に此町では十一日十三時頃一尺位の過高を見た。)

玖波村 其後潮流早い(此村では一日十三時二十分頃に三尺の過高を示した。)

高潮の起日は十一日の所最も多く二十六箇町村ありこれにつぐは十二日の十八箇町村、第三は十日の十三箇町村で、第四は十三日の七箇町村である。此外十七日二十六日二十七日に夫々二箇町村、二十三日二十五日に夫々二箇村にて起り、一日三日・八日・二十二日に夫々一箇村で起つた。

既往に於て今回の高潮よりも高かつたことの有無の照會に對し今回よりも高かつたことあるとの回答に接したところが多數あつたがそれは明治十七年八月二十五日と大正四年九月八日とが多く是等は孰れも所謂暴風津浪の起つた時であつて今回のとは趣を異にしてゐるのである。それで最近にかかる例を見たのは大正五年八月十三日夜の高潮であるがこれに比し今回の方が高かつた様である。今當時の氣象狀況を見るに九日朝宮古島附近に來た颪風は十日六時には奄美大島の東方に來り更に北東進して同日十八時には紀州沖に近づき十一日朝鹿島灘を經て同日午後東海岸沖へ去つたが、此颪風は極めて深更なるもので布良では十一日〇時四十分に氣壓は七百二十六粍一に低下し同日一時に風は南の六十二米/秒一の最大に達した。これがため海面の高昇を來しそれが内海に波及したまたま満潮時殊に一年中の最高潮時に際したのでこの三つが一時にからみあつてかかる異常の高潮を見るに至つたのであらう。されば今後もかかる高潮の起り得べき可能性があるから其起因の真相を確むべく自記檢潮儀の設置を要望してやまないのである。

地震回数

月地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
伴可加簡吉	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 1 3 — 1
部計賀和	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
内幡野谷原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
田竹島市市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
瀬 黒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
美野田郷坂	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
泉海道永	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山野中 井	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山下國西舍	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
坂總朝生田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
市次和原城	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉢山田野桑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釋城木友	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高野	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
上吉西中吳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
乃戸神本高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小忠尾松柄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福御府市久	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
甲上小川吉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三田大王吉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十三比庄西	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
八上君布生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
帝東油久	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

霜雪の季節

地名	終雪			終霜			初霜			初雪		
	本年 起日	昨年 より	平年 より									
廣伴可加吉	月 日	日	日	月 日	日	日	月 日	日	日	月 日	日	日
島 部計和	III 1	早	早	IV 14	晚	晚	XI 26	晚	晚	XI 11	早	早
内幡野谷原	II 27	早	早	V 19	早	早	XI 9	晚	晚	XI 3	早	早
戸八中都井	IV 2	早	早	XI 26	晚	晚	XI 18	晚	晚	XI 7	早	早
津大殿甘海	III 13	晚	晚	XI 20	晚	晚	XI 7	晚	晚	XI 3	早	早
上吉西中吳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
乃戸神本高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小忠尾松柄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
吉津殿甘海	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
吉西中戸神	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
本高小忠久	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
尾松柄福御	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
市久甲上小	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
川吉三田大	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
壬飯十三比	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
庄西八上君	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
布帝東油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

地震總覽

番號	地名	月日	震時	震時	動間	強さ	方向	性質	記事
1	十日市	I 13	時分秒 12 03 00	分秒 —	微	—	急	上下動著し戸障子の微動なし	
2	伴	I 20	18 30頃	01 00	弱	E	水平動	—	
	中野	ク ク	17 55 00	約5	弱	SW	水平動	前聲響あり	
3	十日市	I 26	9 06 00	—	微	—	緩	水平動著し弱き地鳴に引續き發震す	
4	都谷	III 10	18 51 03	0 30	弱	SE	水平動	—	
5	廣島	IV 7	22 36 00	2 25.1	微	—	稍急	—	
	上高野山	ク ク	23 00 00	0 40	強	N-S	急激	—	
	油木	ク ク	22 35 10	0 15	弱	SW-NE	水平動	稍急激地鳴同時 に弱き聲響あり	
	三次	ク ク	22 30 00	—	稍強	E-W	水平動	急激	
	柄	ク ク	22 30 00	—	約強	S-N	水平動	—	
	壬生	ク ク	23後	—	微	—	—		
	福山	ク ク	22?	—	—	—	—		
	吉田	ク ク	22 30 00	—	微	—	—		
	大朝	ク ク	22 37 00	—	—	—	—		
	西條	ク ク	22 35 00	—	—	—	—		
	尾道	ク ク	21 40 00	0 30	弱	SE	水平動	—	
	十日市	ク ク	22 37 00	—	微	—	稍急	上下動著し	
	庄原	ク ク	22 30 00	—	稍強	—	—		
	神田	ク ク	22 40 00	—	—	—	—		
	吉川	ク ク	22 36 00	0 18	—	—	水平動	—	
6	壬生	IV 27	22頃	—	微	—	—		
	吉川	ク ク	22 20頃	—	—	—	—		
7	西條	V 13	14 13 00	—	微	—	—		
	久友	ク ク	14 05 00	—	—	—	—		
8	中野	VI 13	22 02 00	約06	弱	SW	水平動	同時に聲響あり	
	大朝	ク ク	—	—	—	—	—		
	比和	ク ク	22 15 00	—	稍強	N-S	—	—	
	上高野山	ク ク	22 15 00	0 05	強	E-W	水平動	—	
9	庄原	VI 13	22 17 00	0 07	弱	W-E	水平動	地震後聲響を聞く	
	上高野山	ク ク	22 15 30	0 04	弱	W-E	水平動	—	

地震總覽

番號	地名	月日	震時	震時	動間	強さ	方向	性質	記事
10	比和	VI 13	時分秒 22 25 00	分秒 —	稍強	N-S	—	—	
	庄原	ク ク	22 27 00	0 03	弱	W-E	水平動	—	
	上高野山	ク ク	22 25 00	0 25	強	S-N	水平動	—	
11	比和	VI 28	3 30 00	—	—	N-S	—	—	
12	比和	VIII 10	5 50 00	—	—	W-E	—	—	
13	廣島	IX 1	1159 52.1	—	弱(弱き方)	—	緩	—	
14	比和	IX 8	16 04 00	0 02	微	N-S	水平動	—	
15	比和	IX 8	19 05 00	0 03	微	S-N	水平動	—	
16	廣島	IX 17	2229 39.6	1 28.8	微	—	急	—	
	壬生	ク ク	22 30 00	1位 00	微	NW	水平動	緩慢	
17	十日市	IX 19	13 42 00	—	微(弱き方)	—	稍急	人身に感するも戸障子の鳴なし	
	三次	ク ク	13 45 00	—	弱	W-E	—	—	
18	廣島	IX 23	12 41 41	2 58.2	微	—	稍急	—	
	比和	ク ク	12 50 00	0 04	強	S-N	水平動	—	
	庄原	ク ク	12 50 00	1 00	稍強	W-E	水平動	稍急激聲響を地震前に聞く	
	油木	ク ク	12 21 10	0 50	微	SW-NW	水平動	緩慢	
	忠海	ク ク	12 30 00	—	微	—	—	—	
	三次	ク ク	12 40 00	—	弱	NE-W	—	—	
19	中野	IX 23	13 26 07	0 03	微	SW-NE	水平動	同時地鳴	
	津田	ク ク	13 36 00	—	—	—	—	—	
20	廣島	IX 24	2028 25.8	2 31.1	弱(弱き方)	—	稍急	—	
	十日市	ク ク	20 26 00	—	弱	—	緩	水平動著し	
	庄原	ク ク	20 35 00	0 05	稍強	W-E	水平動	稍急	
	比和	ク ク	20 00 00	0 04	微	W-E	水平動	—	
	油木	ク ク	20 45 50	0 25	微	S-N	水平動	緩慢地震と同時に極弱き聲響を聞く	
	壬生	ク ク	20 25 00	0 15位	微	N	緩慢	—	
	忠海	ク ク	20 30 00	—	微	—	—	—	
	久井	ク ク	20 23 27	—	—	SW	—	—	
	三次	ク ク	20 30 00	1 10位	稍強	E-W	—	—	
	津田	ク ク	21 00 00	—	—	—	—	—	

地震總覽

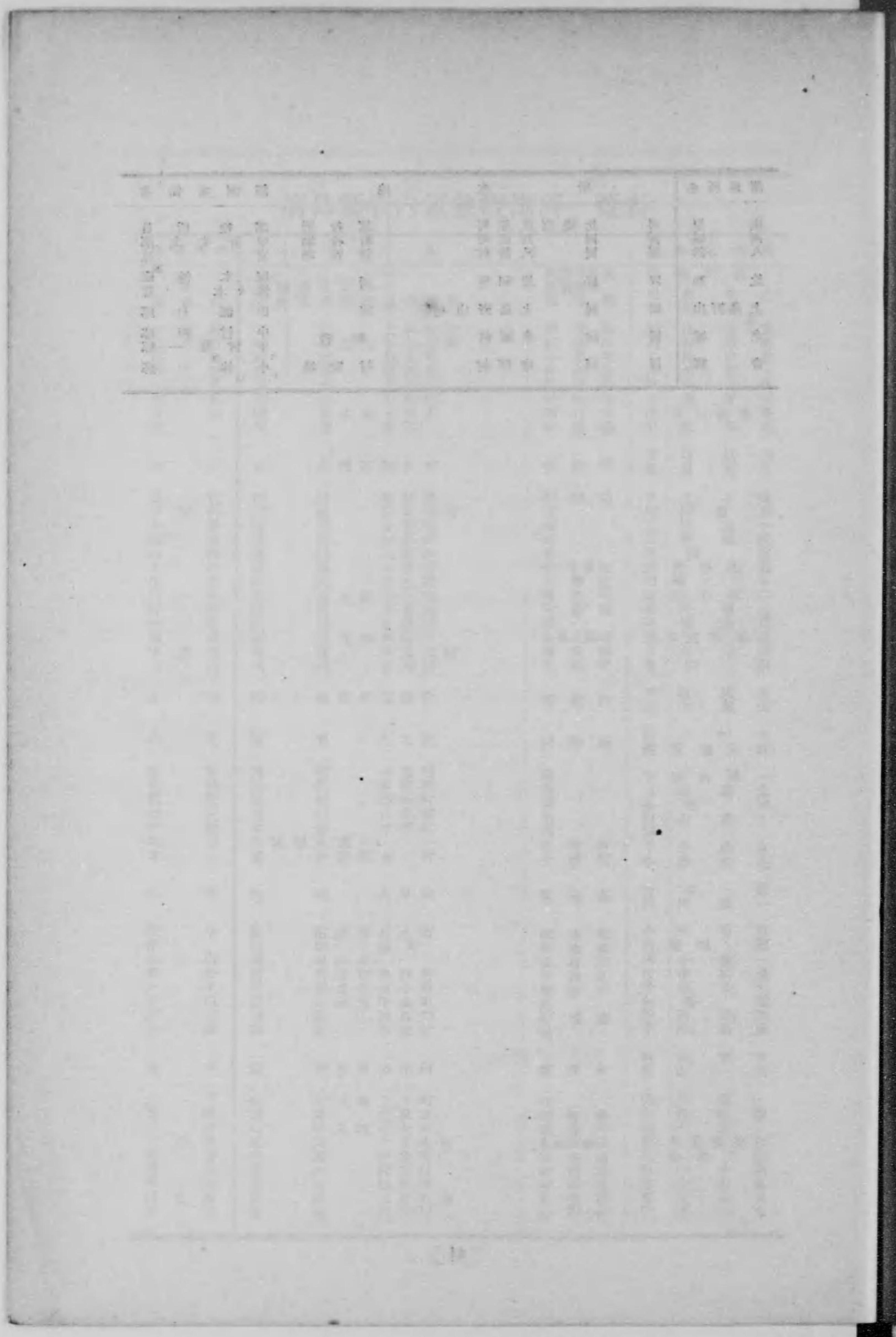
番號	種目 地名	月 日	發震時	震時動間	強さ	方向	性質	記事
	大朝	ク ク	時 分 秒 21 10 00	分 秒	—	—	—	—
	神田	ク ク	20 25 00	—	—	—	—	—
	西城							本日地震二回あり
	松永	ク ク	20 30 00	—	稍 強	—	—	—
	上下	ク ク	19 30 00	—	—	—	—	—
	三良坂	ク ク	20 30 00	—	稍 强	—	—	—
21	比和	IX 27	7 10 00	0 03	弱	W-E	水平動	—
	廣島	ク ク	23 22 10	6 14	微	—	稍 急	—
22	十日市	X 3	23 22 00	—	微(弱き方)	—	稍 急	—
	吉川	ク ク	23 05 00	—	—	—	—	—
23	廣島	X 12	2 03 013	6 027	弱(弱き方)	—	急	地鳴あり 微震前聲響を聞 きたり
	吉和	ク ク	3 20 00	0 06	微	—	水平動	—
	大朝	ク ク	2 08 00	—	—	—	—	—
	中野	ク ク	2 25 00	0 30	稍 强	—	水平動	—
24	忠海	XI 3	13 30 00	—	微	—	—	—
	加計	ク ク	13 37 00	0 01	强	—	—	—
25	三次	XI 5	5 00 00	—	弱	NE	—	—
26	比和	XI 19	10 30 00	—	—	E-W	—	—
27	比利	XI 20	12 10 00	—	—	E-W	—	—
	上高野山	ク ク	12 00 00	0 01	微	W-E	水平動	—
28	十日市	XI 21	13 54 00	—	微	—	急	—
	上高野山	ク ク	14 11 00	—	强	W-E	急 激	—
29	上高野山	XI 21	22 57 00	0 02	弱	E-W	水平動	—
30	上高野山	XI 22	9 00 00	0 05	微	E-W	水平動	—
31	上高野山	XI 27	8 10 00	0 01	弱	W-W	水平動	—
	十日市	ク ク	8 19 00	—	微	—	急	上下動著し木造 平家建震動
	比和	ク ク	8 20 00	—	—	E-W	—	{家屋可成動搖す 市内にては掛時 計止まりたる所 あり
32	廣島	XII 5	8 40 525	22 48	弱	—	緩	—
	十日市	ク ク	8 41 00	—	微(弱き方)	—	—	{緩慢 8時42分より五秒間緩慢に 動震し引續き約十五秒間激震す
	庄原	ク ク	8 42 00	0 20	强	SE-SW	水平動	—

地震總覽

番號	種目 地名	月 日	發震時	震時動間	強さ	方向	性質	記事
	尾道	XII 5	時 分 秒 8 45 00	分 秒 0 30	強	S-N	水平動	—
	三次	ク ク	8 45 00	1位 00	弱	—	—	—
	加計	ク ク	8 43 00	—	—	—	—	{下動家屋の棟東 西に向ひ水平に 動きたる感あり 前5秒1位ドンド ンの音響聞く
	中黒瀬	ク ク	8 57 00	約1 00	強	E-W	水平動	—
	吉川	ク ク	8 40 00	0 05	—	—	—	—
	久井	ク ク	8 50 00	—	—	SW	—	—
	油木	ク ク	8 30 00	—	—	—	—	—
	本郷	ク ク	8 50 00	—	—	—	—	大震
	西條	ク ク	8 40 00	—	弱	—	—	—
	久友	ク ク	8 48 00	—	—	—	—	—
	廿日市	ク ク	8 35 00	—	強	—	—	—
	津田	ク ク	8 45 00	0 08	—	—	下上動	—
33	廣島	XII 12	13 01 355	13 266	弱(弱き方)	S58°E-N58°W	—	{稍急地震と同時 に弱き聲響を聞 く
	油木	ク ク	12 55 00	0 12	弱	SSWNE	水平動	—
	中黒瀬	ク ク	12 53 00	0 51	強	S-N	水平動	{突然急激なる強 震にて家屋南北 に水平動す 急激
	庄原	ク ク	13 12 15	0 05	微	W-S	水平動	—
	十日市	ク ク	13 05 00	—	弱(弱き方)	—	緩	—
	海田市	ク ク	14 30 00	—	—	—	—	—
	小國	ク ク	13 頃	—	—	—	—	—
	大朝	ク ク	13 05 00	—	—	—	—	—
	加計	ク ク	13 10 頃	—	—	—	—	—
	吉川	ク ク	13 30 00	—	—	—	—	—
	久井	ク ク	13 10 00	—	—	S-W	—	—
	西條	ク ク	12 05 00	—	弱	—	—	—
	久友	ク ク	13 00 00	—	—	E-W	—	—
	津田	ク ク	13 28 00	—	—	—	—	—
	本郷	ク ク	13 00 00	2 00	強	—	—	—
	可部	ク ク	13 00 00	—	—	E-W	—	—
	高坂	ク ク	13 10 00	—	—	—	—	—
	廿日市	ク ク	13 07 00	—	強	—	—	—

廣島縣管內氣象觀測所一覽表

測候所名	所 在 地						觀測主任者		
庄西八	原城鉢	同	比	遠 郡	庄	原城鉢	町	郡町村	役野丈
比	和	同	同	同	四	鉢	町	役	所太
上	高野山	同	同	同	八	村	村	所	員郡
東	城	同	同	同	比	和 村	同	野	晁藏
帝	釋	同	同	同	上	高野山 村	同	丈	登 郡
					東	城 町	町	役	太 郡
					帝	釋 村	村	役 場	所 郡



大正十二年 気象概覧 廣島

月	気温 (攝氏)													
	平均	平均			毎日較差の			高 極 の			低 極 の			絶對 較差
		最高	最低	較差	最大	起日	最高	紀日	最低	起日	最高	起日	最低	
一月	2.79	7.59	-1.22	8.81	14.3	7	13.7	22	1.5	2	6.3	22	-7.3	21.0
二月	4.36	9.42	-0.13	9.55	16.0	3	13.2	16	2.3	27	6.8	16	-8.0	21.2
三月	9.04	14.77	2.98	11.79	18.0	24	22.6	28	7.8	1	11.9	28	-5.1	27.7
四月	12.78	17.72	7.51	10.21	17.1	16	25.8	30	9.2	13	16.3	18	-0.8	26.6
五月	18.52	23.29	13.93	9.36	15.1	12	27.8	25	16.9	6	18.5	27	7.1	20.7
六月	20.84	24.88	16.54	8.35	15.0	5	30.0	16	20.5	8	20.3	19	9.4	20.6
七月	24.74	28.85	21.26	7.59	13.6	7	33.7	25	21.8	5	25.4	25	15.5	18.2
八月	26.38	33.89	23.79	10.09	13.1	30	36.0	22	27.4	31	26.1	8	21.2	14.8
九月	23.50	28.55	19.03	9.52	14.2	17	34.2	12	23.0	29	23.7	6	11.1	23.1
十月	16.55	22.15	11.61	10.54	15.5	5	27.5	5	15.2	14	18.1	2	7.2	20.3
十一月	11.23	15.92	6.44	9.48	13.7	26	22.9	1	8.5	30	15.7	1	0.5	22.4
十二月	6.61	11.07	2.23	8.84	15.9	25	15.9	6	3.6	5	9.2	8	-2.4	25.29
全年	14.95	19.84	10.33	9.51	18.0	III24	36.0	VIII	1.5	I 2	26.1	VIII18	-8.0	II 28

月	氣壓 (700.十) (耗)												蒸發量 平均 0-10			
	平均	水蒸氣の 張力 (耗)			濕度 %			降水量 (耗)			雲 量					
		高 極	起 日	低 極	起 日	平 均	最 小	起 日	總 計	最 大	二四時 間	起 日	一時間 起 日			
一月	68.09	75.1	20	51.0	15	4.24	75.3	35	1	67.4	30.9	15	5.5	15	1.31	7.3
二月	64.08	69.7	24	51.4	16	4.54	72.3	31	26	69.0	21.4	19	6.6	16	1.99	7.4
三月	67.35	74.8	7	58.9	29	6.31	72.2	34	6.31	133.6	44.9	19	7.4	19	2.68	5.5
四月	62.66	69.7	26	46.8	12	8.39	75.2	34	23	175.8	54.4	28	15.2	28	2.65	7.3
五月	59.15	65.8	2	51.2	24	12.29	77.9	28	28	288.9	47.2	2021	8.9	11	3.17	7.6
六月	57.02	64.3	2	41.7	22	14.57	79.7	34	1	665.6	119.5	20	21.7	30	3.61	7.7
七月	57.21	63.5	26	45.9	8	19.12	83.2	46	7	527.4	108.0	5	36.0	12	4.24	8.3
八月	58.12	61.8	11	45.9	31	20.49	72.6	42	2	73.5	61.7	31	11.3	31	6.83	4.9
九月	57.76	67.9	19	41.7	15	16.09	74.3	35	28	209.7	78.7	5	39.4	21	4.10	6.7
十月	62.90	72.9	17	49.6	10	10.82	77.6	37	12	197.3	34.3	2	9.4	2	2.38	5.8
十一月	64.98	71.9	16	52.5	1	7.75	77.1	34	13	95.3	27.1	17	12.5	1	1.35	6.5
十二月	67.58	76.4	4	56.2	22	5.60	75.9	34	28	37.4	9.8	21	3.4	8	1.16	7.0
全年	62.24	76.4	XII4	41.7	IX15	10.85	76.1	28	V28	2540.9	119.5	VI20	39.4	IX21	2.96	6.8

月	風速度 (米/秒)												地震 回数				
	平均	日照時			天氣			日數			地						
		最 大	方 向	起 日	總 計	%	降水量	雪	霰	雷	快 晴	曇 天	暴 風				
一月	1.86	8.0	W	1	116.8	37	14	10	13	8	0	22	2	0	15	0	
二月	2.14	9.9	W	10	129.0	42	10	6	7	1	0	15	1	0	14	0	
三月	2.15	7.7	NW	3	203.9	55	12	10	1	0	9	0	0	5	9	0	
四月	2.04	17.5	SSW	8	159.0	41	15	12	0	0	0	3	0	1	2	13	1
五月	1.43	5.8	NW	11	197.9	46	18	15	0	0	0	0	1	2	2	17	0
六月	1.55	6.6	N	SW	2230	41	13	13	0	0	0	0	1	2	3	19	0
七月	1.57	8.9	SSW	23	187.0	43	18	12	0	0	0	4	2	0	18	0	0
八月	1.97	7.6	NE	31	301.8	73	4	3	0	0	0	0	4	6	6	0	0
九月	2.03	9.6	N	15	182.1	49	15	11	0	0	0	0	1	4	3	14	0
十月	1.98	11.8	SSW	31	187.8	54	14	11	0	0	0	0	2	0	6	12	2
十一月	2.52	14.9	W	13	136.8	44	12	7	1	1	0	1	3	1	3	10	1
十二月	1.94	10.2	W	22	113.7	37	10	7	4	3	0	13	3	0	1	11	1
全年	1.93	17.5	SSW	IV 8	2092.0	47	155	117									

月時	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
(表) 気 壓 の 平 均 (水點更正) (粋) (700.十)													
1	68.26	64.11	67.50	62.98	59.31	57.24	57.26	58.55	57.67	63.15	64.83	67.68	62.28
2	68.32	62.67	67.43	61.13	57.08	57.15	58.42	57.61	63.07	64.86	67.68	62.29	
3	68.34	63.99	67.24	62.61	59.07	56.94	57.03	58.40	57.59	63.00	64.90	67.63	62.23
4	68.22	63.93	67.19	62.61	59.10	56.96	57.06	58.39	57.62	63.00	64.94	67.45	62.21
5	68.17	64.03	67.41	62.76	59.25	57.10	57.26	58.50	57.72	63.12	65.02	67.44	62.32
6	68.32	64.16	67.67	62.98	59.50	57.26	57.44	58.72	57.91	63.28	65.19	67.59	62.50
7	68.45	64.41	68.01	63.22	59.75	57.41	57.63	58.87	58.20	63.50	65.52	67.84	62.74
8	68.70	64.70	68.29	63.29	59.82	57.44	57.74	58.92	58.28	63.88	65.75	68.00	62.90
9	68.92	64.90	68.44	63.28	59.82	57.43	57.77	58.87	58.45	63.94	65.82	68.23	62.99
10	68.94	64.80	68.36	63.30	59.75	57.38	57.72	58.75	58.32	63.72	65.78	68.36	62.93
11	68.59	64.61	68.11	63.14	59.66	57.32	57.64	58.44	58.04	63.39	65.44	68.05	62.70
12	67.81	64.14	67.67	62.64	59.32	57.15	57.37	58.13	57.69	62.81	64.93	67.43	62.26
13	67.19	63.54	67.07	62.23	59.03	56.90	57.11	57.79	57.38	62.31	64.29	66.95	61.82
14	66.92	63.16	66.63	61.93	58.72	56.63	56.84	57.37	57.07	61.99	64.01	66.64	61.49
15	66.89	63.10	66.35	61.64	58.37	56.44	56.64	57.04	56.91	61.89	63.98	66.60	61.32
16	67.11	63.21	66.27	61.64	58.23	56.35	56.55	56.94	56.92	61.52	64.15	66.82	61.31
17	67.42	63.46	66.39	61.81	58.27	56.29	56.47	57.00	57.06	62.01	64.21	67.02	61.45
18	67.75	63.77	66.57	62.02	58.37	56.42	56.57	57.08	57.23	62.24	64.58	67.37	61.66
19	68.04	64.09	66.78	62.23	58.68	56.62	56.78	57.43	57.71	62.53	64.89	67.70	61.96
20	68.26	64.31	67.15	62.67	58.94	56.87	57.02	57.86	57.98	62.78	65.14	67.87	62.24
21	68.41	64.41	67.42	63.01	59.26	57.20	57.33	58.21	58.23	62.95	65.29	67.97	62.47
22	68.45	64.47	67.54	63.09	59.47	57.43	57.51	58.32	58.29	63.08	65.40	67.95	62.58
23	68.43	64.34	67.57	63.05	59.44	57.43	57.59	58.38	58.24	63.02	65.36	67.92	62.56
24	68.36	64.22	67.45	63.01	59.39	57.22	57.56	58.40	58.14	62.97	65.21	67.80	62.48
平均	68.09	64.08	67.35	62.66	59.15	57.02	57.21	58.12	57.76	62.90	64.98	67.58	62.24

月時	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
(表) 水 蒸 気 の 張 力 (粋)													
1	4.10	4.60	6.21	8.20	12.23	14.22	19.08	20.74	16.05	10.52	7.85	5.54	10.78
2	4.13	4.53	6.09	8.10	12.01	14.15	19.03	20.62	15.84	10.33	7.53	5.48	10.65
3	4.14	4.50	5.99	8.01	11.92	13.98	18.86	20.50	15.57	10.21	7.33	5.49	10.54
4	4.07	4.49	5.86	7.82	11.78	13.84	18.80	20.21	15.52	10.08	7.18	5.49	10.43
5	4.07	4.49	5.75	7.67	11.65	13.76	18.70	20.02	15.43	9.99	7.09	5.47	10.34
6	4.00	4.48	5.69	7.62	11.68	13.76	18.73	19.89	15.30	9.94	7.12	5.41	10.30
7	4.08	4.50	5.73	7.73	11.81	13.90	18.86	20.06	15.36	10.04	7.12	5.40	10.38
8	4.13	4.59	5.82	7.88	11.90	14.20	18.97	20.27	15.56	10.28	7.25	5.42	10.52
9	4.14	4.55	5.92	8.03	12.00	14.40	18.92	20.48	15.80	10.52	7.40	5.50	10.64
10	4.06	4.47	6.12	8.33	12.16	14.61	18.97	20.45	15.90	10.86	7.54	5.49	10.75
11	4.18	4.48	6.16	8.34	12.40	14.67	18.97	20.21	15.95	10.88	7.73	5.54	10.79
12	4.26	4.48	6.31	8.58	12.37	14.95	19.07	20.31	16.24	11.08	7.79	5.62	10.92
13	4.25	4.54	6.54	8.74	12.50	15.06	19.20	20.31	16.10	10.93	7.85	5.51	10.96
14	4.29	4.49	6.70	8.76	12.59	15.04	19.25	19.95	16.33	11.19	7.93	5.53	11.00
15	4.36	4.57	6.66	8.78	12.61	15.12	19.17	20.00	16.44	11.08	7.98	5.55	11.03
16	4.45	4.39	6.64	8.79	12.69	15.11	19.32	20.16	16.50	11.14	8.12	5.63	11.08
17	4.49	4.40	6.48	8.74	12.43	14.92	18.99	20.41	16.55	11.38	8.36	5.84	11.08
18	4.51	4.59	6.63	8.81	12.52	14.87	19.10	20.50	16.64	11.93	8.59	5.99	11.22
19	4.46	4.73	6.93	8.91	12.63	14.93	19.29	20.92	16.87	11.80	8.47	6.02	11.33
20	4.40	4.69	6.84	8.98	12.86	15.09	19.60	21.30	17.00	11.63	8.27	5.89	11.38
21	4.37	4.67	6.71	8.90	12.86	15.00	19.65	21.16	16.61	11.37	8.09	5.78	11.26
22	4.38	4.63	6.66	8.77	12.60	14.86	19.59	21.21	16.41	11.05	7.91	5.69	11.15
23	4.28	4.63	6.51	8.54	12.41	14.70	19.45	21.13	16.26	10.84			

月 時	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十一 月	十二 月	全 年
降 水 量 耗 水 (耗)													
1	2.2	6.3	6.2	3.2	15.0	31.5	12.1	0.3	8.1	1.6	0.1	5.4	92.0
2	1.9	7.1	4.8	4.7	15.1	33.0	45.9	2.5	22.6	2.5	0.1	2.6	14.28
3	1.0	1.5	2.6	2.4	4.8	26.3	71.7	1.3	42.9	5.0	0.0	2.0	16.15
4	1.9	1.0	8.5	1.8	7.6	41.5	35.7	1.8	74.5	4.8	0.0	0.9	18.00
5	1.8	2.3	18.8	1.9	3.9	39.8	16.9	2.0	14.9	13.4	0.2	0.7	11.66
6	2.9	2.8	9.3	4.9	11.4	42.3	20.5	1.1	3.3	12.1	1.2	0.3	11.21
7	3.3	3.2	5.0	7.9	16.0	37.0	34.1	1.0	0.6	11.4	2.0	0.0	122.5
8	3.4	3.1	5.3	4.7	9.4	24.1	28.2	0.2	0.3	8.4	6.0	0.0	93.1
9	4.2	2.6	3.3	4.7	6.6	28.7	46.1	1.6	0.9	11.7	9.0	0.2	119.6
10	3.1	1.4	2.5	4.5	4.7	24.6	37.9	3.5	0.4	9.7	3.2	1.8	97.3
11	5.2	4.8	3.1	5.3	6.0	27.6	26.1	6.4	1.5	8.7	3.3	1.5	95.5
12	6.0	0.7	4.6	6.9	6.5	23.3	11.4	6.1	2.7	3.3	5.6	0.8	77.9
13	6.5	1.9	3.6	13.7	9.0	17.9	10.4	6.0	3.0	5.0	5.8	0.1	82.9
14	4.1	2.1	3.2	21.9	11.0	24.7	23.0	8.1	5.5	8.5	7.1	0.5	119.7
15	1.8	3.0	3.1	14.7	16.3	28.2	27.4	5.2	4.5	7.9	5.9	0.4	118.4
16	3.8	2.5	4.3	14.2	16.2	38.4	18.2	11.3	6.2	5.0	8.8	0.3	129.2
17	2.1	2.5	3.9	13.6	16.5	10.9	13.0	1.5	2.4	18.2	6.0	1.3	86.9
18	1.1	2.3	6.3	9.4	13.5	11.8	14.6	4.6	1.2	21.1	15.6	2.0	100.5
19	0.5	3.4	5.6	6.4	19.3	15.7	15.0	7.3	1.1	13.5	4.3	3.6	95.7
20	0.5	2.5	5.5	7.9	16.9	44.0	10.2	4.0	1.7	9.1	5.7	2.9	110.9
21	0.9	1.6	6.4	4.3	14.2	20.2	3.8	0.3	2.9	4.7	3.3	3.8	66.4
22	3.1	3.0	14.9	5.2	14.6	22.4	6.1.3	7.0.2	2.6	1.7	0.4	2.3	61.7
23	3.2	5.9	6.7	1.6	21.3	20.2	11.7	1.0.2	1.9	10.6	0.5	1.7	75.5
24	2.9	5.5	6.1	10.0	13.1	31.5	22.2	1.4	0.4.0	4.4	0.2	2.3	82.2
合計	67.4	69.0	133.6	175.8	288.9	665.6	527.4	735	209.7	197.3	95.3	37.4	2540.9

月 時	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十一 月	十二 月	全 年
降 水 觀 測 回 數													
1	4	2	4	6	1.7	3.7	3.5	2.1	2.6	3.5	0.3	2	50
2	4	4	1.4	4	1.6	1.8	1.7	3.1	1.5	2.3	1.1	2	49
3	5	5	5	3	1.5	1.8	1.1	1.5	1.5	2.4	1.1	2	51
4	5	4	1.4	4	1.5	1.7	1.9	1.1	1.6	2.4	1.1	2	51
5	4	5	1.5	1.7	1.5	1.8	1.8	1.1	1.5	1.5	1.1	2	56
6	4	3	1.5	1.7	1.6	1.9	1.9	1.1	1.5	1.6	1.6	3	57
7	5	4	1.5	1.6	1.6	1.9	1.9	1.1	1.2	2.8	2	—	57
8	4	3	1.4	1.6	1.7	1.8	1.8	1.1	0.2	2.8	5	—	56
9	4	4	1.3	1.5	1.6	1.9	1.8	1.1	2	7	3	1	53
10	3	4	1.2	1.6	1.4	2.7	1.8	1.1	3	6	4	2	50
11	6	4	1.2	1.5	1.5	2.1	1.6	1.1	2	7	5	2	52
12	5	3	1.2	1.5	1.5	1.7	1.6	1.1	2	7	5	3	55
13	4	2	3	6	1.6	1.9	1.6	1.1	2	3	5	1	49
14	6	1	3	5	1.9	2.7	2.1	2	2	5	6	2	56
15	5	1	3	4	1.9	1.10	1.6	2.1	2	5	5	2	53
16	4	1	3	6	1.8	1.7	1.8	2.1	2	6	7	2	55
17	3	1	3	7	1.7	1.8	1.1	1.3	1.7	7	2	2	56
18	4	2	3	7	1.9	1.5	1.9	1.1	3	5	5	3	58
19	3	4	4	6	1.9	1.6	1.4	2	3	5	1	49	
20	1	2	5	7	1.9	1.7	1.5	1.1	5	7	3	3	57
21	2	3	5	6	1.9	1.5	1.9	1.1	4	4	3	4	55
22	3	3	6	7	1.9	1.6	1.3	1.1	4	2	4	51	
23	4	2	6	4	7	7	5	1	1.4	3	1.1	4	46
24	3	1	6	3	8	8	5	—	1.6	4	2	2	46
合計	95	68	95	132	168	181	168	26	87	129	80	51	1280

月 時	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十一 月	十二 月	全 年
日 照 時 數 (時)													
4—5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5—6	0.00	0.00	2.75	8.02	11.61	10.45	7.60	15.65	4.95	1.90	0.75	0.00	3.27
6—7	1.95	3.20	16.25	12.20	16.15	13.10	10.73	2					

月時	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
雲量の平均													
1	6.3	7.2	4.9	6.6	7.8	7.2	8.2	3.4	5.7	5.1	4.8	6.1	6.1
2	6.5	6.7	4.7	6.6	8.1	6.9	8.7	4.6	5.8	4.8	6.7	6.5	6.4
3	7.4	6.9	4.5	6.3	7.1	7.2	8.2	4.0	5.7	4.5	5.9	6.5	6.2
4	7.4	7.0	4.2	6.4	7.8	7.0	8.9	4.9	5.8	4.8	5.8	6.3	6.4
5	7.1	6.7	4.6	6.8	8.0	7.6	8.9	6.8	5.6	4.2	5.2	7.5	6.6
6	7.4	7.1	5.5	7.5	7.7	7.8	9.6	6.4	5.7	5.5	5.9	7.1	6.9
7	7.2	8.5	6.8	7.3	7.9	7.7	9.3	5.9	6.4	5.6	7.2	7.7	7.3
8	7.5	8.4	6.5	7.5	7.5	7.8	8.7	5.6	6.2	6.1	6.8	7.3	7.2
9	7.3	8.0	6.5	7.7	6.7	8.1	8.7	4.8	6.9	5.6	7.4	7.4	7.1
10	8.4	7.5	6.3	8.0	6.8	8.2	8.3	4.4	6.7	5.7	6.9	7.1	7.0
11	8.2	8.0	5.3	7.7	6.8	8.1	8.5	4.3	7.1	6.0	7.3	8.2	7.1
12	8.1	8.1	5.9	7.8	6.7	8.1	8.0	4.5	6.7	6.4	7.4	8.5	7.2
13	8.1	8.0	6.4	7.9	7.7	8.1	7.9	4.5	7.1	6.5	7.4	8.5	7.3
14	8.0	8.1	6.2	8.0	7.5	8.1	7.9	4.9	8.0	7.0	8.4	8.2	7.5
15	8.2	7.9	6.0	7.7	7.8	8.2	7.3	5.3	7.4	7.0	8.1	7.7	7.4
16	8.0	7.8	5.9	8.1	7.9	8.0	7.5	5.8	7.5	6.8	7.8	7.7	7.4
17	7.3	7.7	5.6	8.3	8.4	8.1	5.7	7.5	5.9	7.4	8.1	7.3	
18	7.1	7.7	5.3	7.7	8.3	8.5	8.4	6.0	7.7	6.2	7.4	6.8	7.3
19	6.6	6.9	5.7	7.6	8.4	8.3	8.4	6.5	7.4	6.1	5.1	5.5	6.9
20	6.7	7.5	5.1	6.4	7.5	7.8	8.1	4.7	7.4	6.3	5.7	5.9	6.6
21	6.9	6.0	5.6	6.9	7.6	6.2	8.2	3.1	6.5	6.0	5.4	4.8	6.1
22	6.6	6.3	5.2	6.9	7.1	6.6	8.3	4.2	6.7	5.6	5.4	6.0	6.2
23	6.0	6.7	4.8	7.0	7.3	6.9	8.0	3.6	6.5	6.3	4.5	6.1	6.1
24	6.4	7.0	4.8	7.2	7.0	7.4	8.1	3.5	5.9	5.1	4.9	5.7	6.1
合計	7.3	7.4	5.5	7.3	7.6	7.7	8.3	4.9	6.7	5.8	6.5	7.0	6.8
風速度の平均(米/秒)													
1	1.75	1.63	1.66	1.77	0.95	1.16	0.96	0.99	1.50	1.63	2.35	2.01	1.53
2	1.80	1.49	1.80	1.68	0.99	1.16	0.95	1.02	1.37	1.66	2.50	1.96	1.53
3	1.67	1.71	1.88	1.79	1.05	1.19	0.95	0.97	1.64	1.74	2.90	2.05	1.63
4	1.91	1.92	2.01	1.99	1.23	1.41	0.97	1.08	1.82	1.81	3.14	1.98	1.77
5	1.70	1.51	2.14	1.85	1.21	1.29	1.02	1.22	1.77	1.68	2.92	1.63	1.61
6	1.77	1.50	1.78	1.79	1.17	1.40	1.09	1.22	1.65	1.59	2.65	1.85	1.62
7	1.67	1.50	1.86	1.70	1.09	1.42	1.19	1.55	1.75	1.76	2.26	1.69	1.62
8	1.49	1.31	2.07	2.16	1.44	1.43	1.47	1.80	2.07	1.74	2.51	1.75	1.77
9	1.51	1.68	1.88	2.16	1.37	1.33	1.59	1.90	2.19	1.84	2.50	1.87	1.82
10	1.64	1.79	2.34	2.46	1.60	1.88	1.98	2.50	2.32	1.63	2.93	1.91	2.08
11	1.88	2.45	2.54	2.43	1.87	1.80	1.98	2.85	2.75	1.83	2.65	1.88	2.24
12	2.03	2.69	2.90	2.92	2.19	2.11	2.20	3.28	2.82	2.32	2.60	1.85	2.49
13	2.52	2.97	3.30	2.68	2.03	2.14	2.40	3.34	2.90	2.29	2.80	2.15	2.63
14	2.49	3.08	3.16	3.21	2.04	2.25	2.62	3.28	2.92	2.59	3.16	2.39	2.77
15	2.18	3.24	3.23	2.96	1.99	2.27	2.60	3.37	2.78	2.73	2.78	2.34	2.71
16	2.31	3.00	2.87	2.94	2.13	2.28	2.33	3.19	2.73	2.18	2.64	2.21	2.57
17	1.96	2.68	2.74	2.30	2.05	1.99	2.32	2.76	2.6	1.85	2.08	1.96	2.25
18	1.57	2.04	2.05	1.95	1.91	1.76	2.05	2.32	2.14	1.12	1.96	1.52	1.87
19	1.43	1.74	1.28	1.65	1.33	1.32	1.67	1.84	1.41	1.42	1.67	1.46	1.52
20	1.42	1.23	1.42	1.21	0.95	0.88	1.31	1.44	1.29	1.63	1.61	1.94	1.37
21	1.38	1.25	1.33	1.30	0.82	0.91	1.12	1.39	1.73	1.60	1.95	1.92	1.39
22	1.47	1.36	1.32	1.41	0.84	0.94	1.05	1.04	1.35	1.75	2.02	2.00	1.38
23	1.56	1.25	1.49	1.68	0.97	1.22	1.08	1.00	1.55	1.97	2.08	1.86	1.48
24	1.78	1.39	1.61	1.58	0.98	1.14	0.88	0.88	1.65	1.75	2.03	1.96	1.47
平均	17.9	1.94	2.11	2.07	1.43	1.53	1.57	1.93	2.02	1.84	2.42	1.92	1.88

風向	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
風向観測回数													
北北東	102	66	71	78	32	113	42	63	170	120	188	172	1217
北東	232	189	180	108	89	118	23	62	201	185	224	214	1825
東北東	42	121	124	60	45	36	26	31	93	146	61	34	819
東東	17	11	17	29	23	1	2	11	16	25	6	4	162
東南東	23</td												

月 風向	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十一 月	十二 月	全 年
方 向 別 暴 風 時 數													
北	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	5
北	北	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	1
東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	2
南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	5
南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	1
西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	2
西	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	4
西北	西北	西北	西北	西北	西北	西北	西北	西北	西北	西北	西北	西北	1
北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	1
合計	—	—	—	—	3	—	—	—	—	3	6	1	13
暴 風 日 數													
強風10-15米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1	4
烈風15-29米	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
颶風29以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	1	1	5
量 別 降 水 日 數													
00耗	7	8	6	6	—	2	4	2	6	2	6	9	58
0.1	4	4	2	3	3	1	6	1	4	1	3	3	38
1	5	5	2	2	3	2	2	1	2	2	1	1	20
3	2	2	1	3	4	1	2	1	2	4	1	1	13
5	1	1	—	1	1	—	1	—	1	1	1	1	25
10	1	1	—	2	1	—	2	2	1	1	1	1	11
15	1	1	—	1	1	—	1	—	1	1	1	1	11
20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
55	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
60	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
65	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
70	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
75	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
80	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
85	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
90	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
100-120	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	14	10	12	15	18	13	18	4	15	14	12	10	155

五日以上引續きて雨降りし日數

自	至	日 數	記	事
21日	I月 27日	I月 7	—	
13	II月 17	II月 5	十七日には	0.0
26	II月 3	III月 6	一日には	0.0
17	IV月 21	IV月 6	二十日には	0.0
19	V月 24	V月 6	—	
15	VI月 22	VI月 8	—	
29	VI月 5	VII月 7	—	
8	VII月 14	VII月 7	—	
21	VII月 25	VII月 5	二十四日には	0.0
30	VIII月 5	IX月 7	—	
7	IX月 11	IX月 5	九日には	0.0
6	X月 12	X月 7	七日には	0.0

[8]

種 目	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十一 月	十二 月	全 年
日々平均氣溫の差 (攝氏)													
平 均	1.81	1.14	2.15	1.88	1.05	1.05	1.15	0.59	1.54	1.37	1.79	1.83	1.45
氣溫度別昇降回數													
上 昇	0° - 2°	1.0	12	13	10	11	19	14	10	9	15	9	10
	2° - 4°	4	1	6	6	3	2	3	-	5	3	2	4
	4° - 6°	2	-	2	2	-	-	-	-	-	2	1	3
	6° - 8°	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
合 計		16	13	21	18	14	21	18	10	14	18	12	16
下 昇	0° - 2°	10	13	4	7	15	6	11	19	9	9	10	123
	2° - 4°	3	1	4	3	2	3	2	1	7	4	7	39
	4° - 6°	1	1	2	2	-	-	-	-	-	1	3	10
	6° - 8°	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
合 計		15	15	10	12	17	9	13	20	16	13	18	15
昇 降 ナ シ		-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
草上最低溫度 (攝氏)													
平 均 最 低 日	-4.58	-3.59	0.25	5.14	11.78	15.01	20.11	22.15	17.25	9.23	3.64	-4.05	7.70
	-12.5	-13.1	-6.9	-3.1	3.3	72	13.1	19.4	9.4	3.7	-2.4	-5.4	-13.1
	3	28	1	14	5	2	7	1	29	25	30	30	II 28
最低氣溫の平均よりも低きこと (攝氏)													
	3.36	3.46	2.73	2.37	2.15	1.53	1.15	1.64	1.78	2.38	2.80	6.28	264
氣溫類別日數													
氣 溫	最低 0°以下	21	16	8	1	-	-	-	-	-	-	-	11
	平均 0°以下	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57
	最高 0°以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	最低 25°以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平均 25°以上	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6
	最高 25°以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56
	最高 30°以上	-	-	-	1	9	16	16	30	10	-	-	114
	最高 35°以上	-	-	-	-	-	1	14	31	27	6	-	53
草上最低 0°以下	29	21	16	5	-	-	-	-	-	-	4	22	97
上層雲の方向及其の回数													
平均 回 数 %	S82W	S82W	S79W	S82W	S72W	S77W	S88W	N88W	S68W	S72W	S79W	S86W	S80W
	97	95	89	87	91	92	94	86	78	94	95	98	91
井水溫度 (攝氏)													
平 均	10.06	9.49	9.97	12.07	15.31	17.92	20.56	21.74	22.09	19.24	16.55	13.33	15.73
雜項													
種 目	初 總 月 數	初 日	終 日	初 終 期 間	本 年 初 日	日	續 日 數 の 最 多						
氣 溫	最低 0°以下	59	24XI (前年)	14	IV	142	1	XII	29	I	9	II	12
	平均 0°以下	61	-	I	8	59	-	-	1	I, 26	II	3 I, 28	3
	最高 0°以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最低 25°以上	7	25	VII	26 VIII	32	-	-	8	25 VIII	9	26 VIII	2
	平均 25°以上	56	16	VII	14 IX	61	-	-	16	VII	30	VIII	46
	最高 25°以上	114	30	IV	20 X	174	-	-	15	VII	3	IX	51
	最高 30°以上	54	14	VI	19 IX	98	-	-	24	VII	30	VIII	38
	最高 35°以上	56	VIII	30 VIII	-	25	-	-	6 VIII	21 VIII	7 VIII	22 VIII	2
氣 溫	最低地溫 0°以下	113	10XI (前年)	15	IV	157	10	XI	30 XI (前年)	21	I	53	
霧	70	11XI (前年)	14	IV	155	26	XI	3	-	14	I	12	
降 積	雪	29	26XI (前年)	1	III	96	30	XI	1 I, 26	II	4 I, 1 III	4	
	雪	12	27XI (前年)	28	II	94	1	XII	1	-	4 I, 1 III	4	

9

管内の氣象

平均氣温 (攝氏の度) (※を附したる分は最高、最低氣温の平均によつた。)

地名	月	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	全	起	
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	年	月	日	
可部	1.4	3.4	7.9	10.2	19.5	21.4	25.6	29.5	23.6	15.5	9.4	7.5	14.6			
加計	0.3	2.3	6.2	11.0	17.8	19.6	23.0	26.3	21.7	14.8	9.1	3.8	13.0			
中野	—	—	—	—	15.3	166	196	243	204	10.7	6.9	3.6	—			
嚴島	3.1	4.8	10.3	13.7	20.0	22.6	26.5	31.8	26.2	21.4			
廿日市	3.2	4.9	9.6	13.3	19.6	22.4	26.1	30.6	25.7	18.5	12.7	6.6	16.1			
海田市	4.1	5.4	10.9	14.1	20.2	23.4	26.3	30.6	24.5	17.2	11.6	7.1	16.3			
吉川	3.2	4.2	10.6	12.6	19.9	21.7	25.3	30.0	24.0	17.2	11.9	6.3	15.6			
西條	1.5	3.5	8.0	12.5	17.4	20.3	24.0	27.1	21.5	14.5	9.7	4.7	13.7			
吳	3.6	4.8	9.2	12.6	18.4	20.8	24.8	28.3	23.3	16.8	11.8	7.2	15.1			
本郷	3.3	4.4	9.9	13.4	19.5	22.0	25.3	28.8	24.2	17.3	11.3	7.9	15.6			
久友	51	3.2	8.7	12.4	18.8	22.2	256	30.8	25.3	20.7	15.7	11.1	16.6			
忠海	6.2	6.1	10.5	14.1	19.0	212	25.8	29.6	25.4	19.6	14.1	9.5	16.8			
尾道	3.7	5.4	9.0	16.2	18.4	20.7	24.9	29.4	24.6	17.6	10.9	6.2	15.6			
松	3.1	4.2	9.3	12.7	18.9	21.5	26.4	28.6	23.0	16.7	10.9	6.7	15.2			
郷	78	62	120	160	213	22.7	27.1	32.6	26.6	19.8	15.3	10.7	18.2			
福山	1.6	3.1	8.3	12.2	18.8	21.0	25.2	29.0	23.0	15.6	10.1			
府中	1.6	3.9	8.8	...	19.1	22.6	25.9	14.2	10.8	6.5	...			
甲山	-0.5	1.3	7.1	11.8	16.5	19.3	22.2	26.6	20.6	12.6	7.2	2.0	12.2			
小國	...	3.2	9.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	...			
上	-4.3	-1.1	3.7	8.0	14.5	17.2	21.4	24.5	16.8	11.2	5.5	0.2	9.8			
下	吉田	0.1	3.0	8.7	13.0	19.4	22.5	27.1	29.8	23.4	15.5	9.4	2.6	14.5		
十日市	-0.5	1.5	6.5	10.9	16.7	19.2	23.0	26.0	20.7	13.5	8.2	3.3	12.4			
庄原	-1.4	0.9	6.4	11.8	18.7	20.6	24.9	27.9	21.4	13.4	7.7	2.3	12.9			
帝釋	1.8	6.9?	9.2	9.5	16.9	19.7	22.1	27.3	21.9	15.1			
油木	-1.2	1.2	6.5	11.7	16.9	15.9	22.0	26.2	20.7	13.8	8.4	3.3	12.1			

氣温高極 (攝氏の度) (※を附したるは最高寒暖計による。)

可部	14.0	13.2	25.5	23.0	30.1?	34.8	37.9	41.5?	37.1	29.0	23.2	14.0	41.5?	5VIII
加計	5.6	11.6	19.9	22.5	25.6?	29.0	33.5	36.4?	32.3	25.0	20.5	15.4	36.4?	16VIII
中野	—	—	—	—	28.8	29.0	32.0	32.0	31.5	23.8	157	11.0	320	78. 11
嚴島	12.5	19.6	26.5	29.7	29.0	30.0	34.5	36.5	34.0	27.5	36.5	8 VIII
廿日市	15.0	16.0	23.5	24.8	28.5?	31.4	35.4	39.0?	36.2	30.2	24.5	16.2	39.0?	8 VIII
海田市	15.0	14.6?	26.5	29.1	30.6	33.5	37.4	39.8	35.8	26.8	23.6	16.4	39.8	15VIII
吉川	14.7	15.0	24.2	24.5	28.7	30.1	34.6	36.7	34.0	26.5	23.4	14.5	36.7	15VIII
西條	14.6	14.7	24.3	25.4	27.4	29.4	33.3	35.4	33.2	24.6	23.0	13.5	35.4	15VIII
吳	16.8	12.5	22.3	25.6	27.7	30.7	34.1	36.4	32.0	26.8	23.4	15.1	36.4	16VIII
本郷	14.0	12.5	23.5	22.0	27.0	30.0	33.0	36.0	33.0	25.5	24.5	14.5	36.0	17VIII
久友	18.0?	15.8	257	24.5	29.0	31.7	34.0	39.0	32.0	30.0	24.0	17.0	39.0	(17)VIII
忠尾道	17.12	14.0	22.8	25.5	27.2	27.6?	34.6	36.5	32.4	29.4	25.5	16.8	36.5	17VIII
	13.12	18.8	21.3	23.0	27.2	27.9	33.1	35.9	33.0	26.0	24.0	15.1	35.9	30VIII

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年	起月
松永	12.5?	13.0	24.3	24.9	27.0	30.1	35.2	34.8?	32.0	25.2	23.3	15.0	35.2	26 VII
炳	17.0	18.5	26.5	26.5	28.0	29.5	35.0	37.5	34.0	26.5	22.0	16.0	37.5	16 ¹⁹⁻²⁹ VIII
福山	12.5?	12.5	25.4	26.3	29.7	30.7	35.5	38.3	33.5	26.1	22.5	...	38.3	17VIII
府中	12.3	13.1	25.8	...	29.1	32.3	36.9	27.0	25.9	15.0	?	?
甲山	15.1	12.7	26.1	26.8	28.0	31.4	35.8	39.0	32.5	23.9	23.5	12.9	39.0	15VII
小國	...	15.5	23.0	;	—
土下	10.5	8.5	20.5	24.3	25.0	27.5	33.8	34.5	30.5?	21.6	21.5	12.6	34.5	15VIII
吉田	14.1	15.7	27.0	29.3	33.0	34.6	39.1	39.9	36.9	25.9	22.8	?	39.9	10VIII
十日市	10.3	13.6	24.3	26.1	27.4	29.0	32.0	34.8	31.9	24.2	22.6	15.0	3	

月地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
海田市	8.5	9.8	17.1	20.0	25.9	27.6	30.5	37.3	30.0	23.1	17.1	10.9	21.5
吉川	7.2	8.5	15.7	17.8	23.5	25.7	28.5	34.0	27.7	21.3	15.4	10.2	19.6
西条	5.6	7.7	14.3	17.9	22.2	24.5	27.7	32.5	26.4	21.3	14.8	9.1	18.7
吳	7.5	8.9	14.6	17.2	23.0	25.2	29.1	33.9	27.8	21.8	15.9	10.7	19.6
本郷	7.9	8.7	15.2	17.8	23.9	25.0	28.4	33.9	28.1	21.3	16.7	11.7	19.9
久友	8.6	10.8	17.1	17.6	24.7	27.0	29.7	36.6	32.1	26.6	19.7	13.7	22.0
忠海	9.8	10.0	14.8	17.7	22.7	24.3	29.1	34.6	28.6	23.9	18.1	10.9	20.4
尾道	...	8.3	12.8	16.2	21.9	23.6	27.7	33.9	28.9	21.9	14.6	9.4	—
松永	6.7	8.5	14.7	17.0	22.6	25.1	29.7	33.3	26.9	21.3	15.2	10.8	19.3
柄	9.8	10.3	18.2	17.9	24.8	2.66	30.2	36.9	30.0	24.1	19.4	13.1	21.7
福山	7.7	7.8	14.6	17.8	24.1	26.2	29.7	35.7	28.4	21.9	17.9	...	—
府中	6.1	8.4	15.4	...	24.2	26.7	30.2	16.1	10.7	—	—
甲山	3.8	5.9	14.9	18.7	22.7	24.9	28.5	34.6	25.9	19.3	12.5	6.3	18.2
小國	...	6.7	13.7	—	—
上	0.1	3.0	10.4	14.4	20.2	22.4	25.8	31.2	27.1	17.4	11.9	5.6	15.8
吉田	4.9	8.2	18.9	20.4	26.1	28.5	32.2	37.1	28.6	21.7	13.5	11.9	20.8
日市	4.2	6.5	13.7	17.6	22.7	24.5	27.5	32.2	25.8	19.6	13.0	7.8	17.9
庄原	3.2	6.0	14.5	19.0	25.7	27.1	30.7	35.4	28.5	21.2	13.6	7.5	19.4
帝釋	3.3	10.87	13.4	18.6	22.6	23.6	29.1	32.1	26.8	19.7	...	—	—
油木	2.7	5.0	12.0	16.2	20.8	23.3	25.9	31.7	24.7	18.9	12.6	6.7	16.7

最低氣溫の平均 (攝氏の度) (※を附したものは最低寒暖計の平均による)
其他は自記寒暖計の最低の平均による

可加野島	-1.9	-0.6	1.7	6.3	14.7	16.7	21.0	23.8	18.8	10.7	5.2	3.2	10.0
部計	-1.4	0.0	2.1	10.8	16.5	17.7	19.4	21.7	17.7	10.9	5.5	0.3	10.1
中盛	—	—	—	—	8.9	11.0	14.3	18.2	13.9	3.1	2.5	1.3	—
甘日市	1.9	-2.1	3.7	7.5	13.1	16.4	20.3	23.7	18.9	14.6	—
0.0	0.4	1.4	4.1	8.9	15.4	18.4	23.6	26.2	21.5	14.2	8.5	3.6	12.2
海田	-0.4	0.5	4.4	9.0	14.8	19.0	23.0	25.1	19.8	12.4	6.8	3.2	11.5
吉川	-2.3	-1.2	2.0	6.2	13.2	16.9	20.7	22.5	17.4	9.3	5.4	0.8	9.2
四條	-2.1	-7.4	1.8	7.1	12.6	16.0	20.9	22.5	17.1	9.3	4.6	0.2	8.6
吳郷	0.3	1.5	4.4	8.4	14.7	17.1	21.7	24.3	19.7	12.9	8.0	3.9	11.4
本郷	-0.4	0.2	3.0	6.6	14.1	17.1	21.8	23.7	18.7	15.5	6.5	2.4	10.8
久友	1.3	0.2	1.9	6.5	12.3	15.6	20.8	24.3	19.1	12.9	7.5	4.0	10.5
忠尾松	3.5	2.2	5.7	10.5	15.2	18.3	23.1	25.6	22.2	15.5	10.1	3.4	12.9
水柄	-0.4	2.5	5.3	9.1	15.0	17.7	22.6	26.0	21.2	13.9	7.9	3.6	12.0
0.5	0.4	3.8	8.1	14.4	17.7	23.4	24.5	19.3	12.4	6.8	3.0	11.1	—
3.2	2.0	6.4	9.4	15.9	16.6	21.2	26.0	19.9	15.5	8.0	7.7	12.7	—
福山	-4.7	-1.0	1.2	6.8	14.2	16.5	21.5	23.8	18.5	10.7	—
府中	-2.1	0.2	2.6	...	14.3	17.3	22.2	6.6	2.1	—	—
申國	-4.8	-3.0	0.9	5.5	10.5	14.0	19.7	21.0	16.0	7.1	2.2	-2.4	7.2
小上	—
8.8	-4.8	-2.7	2.0	8.6	12.2	17.8	19.3	17.4	5.5	1.8	-3.0	5.4	—
吉田	-3.8	-1.0	2.2	6.5	13.6	17.3	23.0	24.3	18.7	10.6	5.4	0.7	9.8
子日市	-3.9	-2.0	6.7	5.4	11.7	14.6	19.5	21.3	16.6	9.4	4.4	0.0	8.1
庄原	-4.9	-3.5	-0.8	5.2	12.7	14.8	20.4	21.9	15.8	7.8	2.8	-2.1	7.5
油木	-6.8	-4.9	2.2	5.8	7.4	13.9	16.0	18.1	12.8	3.2	—
-4.1	-1.7	1.1	7.2	12.6	15.6	19.7	22.3	16.5	9.1	4.1	-0.3	8.6	—

月地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
件部計	101.5	67.5	136.0	225.0	301.0	758.2	428.0	11.50	102.0	196.0	120.0	32.0	2582.2
加賀吉	65.8	73.4	116.0	165.0	251.6	645.0	467.5	70.3	111.1	237.6	117.8	50.4	2391.5
和	80.5	70.4	92.6	174.4	157.3	865.0	17.97	140.8	132.1	144.5	128.1	62.4	2066.0?
吉	77.0	69.0	52.0	150.0	142.0	322.0	243.0	?	?	113.0	61.0	35.4	?
戸八中都井
河内福野谷原	...	139.72	23.27	138.4
大島市	170.6	100.8	141.3	223.0	323.2	656.9	412.5	22.63	153.0	366.5	157.1	135.3	3003.5
日田	151.2	83.3	104.9	226.0	368.0	622.0	560.0	142.0	240.0	169.0	94.0	2882.4	—
田竹島市	83.0	52.4	124.5	168.2	245.0	652.9	349.6	54.7</					

降水量最大日(純)														
月地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年	
伴 可加賀利	26.0	23.7	28.0	4.00	50.0	132.0	90.0	86.0	32.0	70.0	32.0	12.0	132.0	20.VI
	15.3	26.0	23.2	60.1	53.5	132.0	120.0	60.0	50.0	62.0	31.6	12.6	132.0	20.VI
	15.5	22.5	19.1	46.4	39.0	105.6	6.87	51.8	50.3	44.5	30.3	11.2	105.6?	30.XII?
	25.0	18.0	17.0	22.0	25.0	53.0	69.0	???	???	25.0	15.0	7.0	69.0?	10.VII?
内 河 八 中 都 井
	4.00	8.77	17.8
	29.7	22.7	35.1	41.0	94.7	121.4	123.0	105.0	46.5	70.0	46.8	17.5	123.0	11.VII
	40.0	4.00	21.2	31.0	83.0	97.0	106.0	76.0	50.0	50.0	30.0	15.0	106.0	10.VII
	25.1	13.4	25.2	32.0	49.1	112.1	98.2	41.2	20.3	39.1	59.7	28.0	112.1	30.VI
田 竹 島 市 市	28.6?	71.8	80.6	63.5	33.7	14.0
	18.2	30.7	60.2	43.0	80.5	?	97.0	...	91.0	25.0
	20.0	41.0	25.0	12.0	21.0	75.0	65.0	30.0	47.0	31.0	3.0	75.0	20.VI	
	17.5	21.8	31.2	40.7	60.0	140.0	175.5	32.6	98.0	32.2	26.7	12.0	175.5	11.VII
野 川 瀬 上 吉 西 中 黑 堺	25.0	20.0	30.0	55.0	50.0	100.0
	23.1	23.0	31.5	54.0	51.5	141.8	169.0	42.0	149.0	34.5	36.0	14.5	195.0	11.VII
	24.7	21.7	32.2	48.1	57.3	140.0	141.8	73.0	118.8	30.9	32.0	13.4	141.8	11.VII
	18.6	20.9	32.5	47.5	54.7	137.9	76.3	39.1	33.0	28.3	36.2	5.1	137.9	20.VI
	27.6	26.1	54.4	49.5	39.0	136.2	95.7	82.9	45.7	35.7	27.0	9.0	136.2	20.VI
美 野 田 鄉 坂
	30.5	20.7	27.9	42.2	58.5	200.6	113.5	42.5	47.2	34.6	30.5	12.9	200.6	30.VI
	23.9	16.9	30.8	31.2	38.9	140.0	94.4	28.2	54.0	31.7	45.5	10.8	140.0	20.VI
	27.4	15.1	31.0	38.0	48.0	104.0	35.0	36.0	70.1	30.0	50.0	13.0	104.0	15.VI
泉 友 海 道 水	25.0	17.5	33.8	33.8	41.0	113.2	96.7	50.7	68.7	36.8	30.1	11.4	113.2	20.VI
	9.1	17.5	41.0	22.3	50.2	123.0	73.5	51.5	50.0	29.5	37.7	14.0	123.0	20.VI
	19.0	29.0	31.0	37.7	85.0	73.5	39.0	70.0	31.0	27.0	4.6	85.0	16.VI	
	19.6	16.0	31.8	50.4	44.8	198.8	52.0	3.2	85.3	57.0	35.1	11.2	198.8	30.VI
	26.5	14.5	32.7	39.9	43.3	89.9	54.7	46.0	87.8	32.0	26.4	10.9	89.9	16.VI
小 久 忠 尾 松	12.0	17.0	20.0	37.0	45.0	80.0	31.0	68.0	65.	27.5	40.0	1.0	80.0	30.VI?
	17.5	7.0	32.3	37.5	31.6	64.5	54.8	57.6	64.5	26.2	28.5	...	64.6?	14.IX
	70.2	15.4	31.4	39.8	42.1	106.0	74.5	43.7	65.8	24.4	32.9	7.0	106.0	30.VI
	13.2	???	?	40.8	129.6	85.0	54.5	51.1	31.6	37.6	11.1	129.6?	30.VI?	
	14.0	12.0	26.6	37.5	36.4	118.5	101.3	49.3	73.7	29.5	24.1	4.0	118.5	30.VI
柄 福 御 府	12.0	17.0	20.0	37.0	45.0	80.0	31.0	68.0	65.	27.5	40.0	1.0	80.0	30.VI?
	17.5	7.0	32.3	37.5	31.6	64.5	54.8	57.6	64.5	26.2	28.5	...	64.6?	14.IX
	70.2	15.4	31.4	39.8	42.1	106.0	74.5	43.7	65.8	24.4	32.9	7.0	106.0	30.VI
	13.2	???	?	40.8	129.6	85.0	54.5	51.1	31.6	37.6	11.1	129.6?	30.VI?	
	14.0	12.0	26.6	37.5	36.4	118.5	101.3	49.3	73.7	29.5	24.1	4.0	118.5	30.VI
山 野 中 市	16.0	19.0	15.0	27.0	42.0	50.0	65.0	33.0	57.0	25.0	27.8	14.0	65.0	11.VII
	27.1	18.6	21.8	34.5	40.0	130.3	99.0	40.5	63.5	28.9	27.2	—	130.3?	30.VI?
	28.7	20.7	21.5	23.6	57.4	150.1	40.5	60.0	22.0	33.0	30.2	11.1	150.1	30.VI
	...	16.0	20.0	30.0	46.0	124.0	121.0	13.0	22.0	23.0	29.0	14.0	124.0?	30.VI?
	...	21.5	39.0	65.0	130.0	101.0	35.5	36.0	28.4	19.0	130.0?	30.VI
井 山 下 國 西	26.9	21.8	30.0	33.2	67.0	137.5	138.9	48.3	47.6	33.8	32.0	2.5	138.9	11.VII
	...	41.0	22.5	35.0	138.0	113.0	42.0	36.0	42.0	24.0	7.6	138.0?	30.VI?	
	20.0	12.4	20.2	13.5	23.2	18.0	70.0
	20.6	40.3	35.5	27.3	44.3	68.8	112.5	29.1	35.4	34.2	18.5	14.8	112.5	20.VII
	?	?	???	?	?	?	?	?	35.7	...	20.2
吉 三 田 大 王	21.0	25.0	20.0	14.0	46.0	119.0	113.0	46.0	23.9	32.3	32.0	12.0	119.0	30.VI
	21.8	23.0	20.7	27.1	74.1	132.5	124.5	75.9	31.2	35.1	31.0	16.2	132.5	30.VI
	18.3	18.2	17.0	26.0	67.0	79.5	100.5	58.0	22.5	31.5	24.0	12.0	100.5	11.VII
	2.25	29.3	25.0	28.2	60.0	80.7	190.0	110.0	24.5	49.2	42.0	20.0	190.0	11.VII
	23.0	12.8	???	13.2?	62.0	130.7	121.6	80.3	37.0	36.3	31.0	11.0	130.7?	30.VI?
城 鋒 屋 上 君 布	22.8	13.6	20.5	39.0	93.5	107.8	125.1	110.5	57.2	43.5	23.5	15.7	125.1	9.VI
	31.0	7.5	25.0	52.0	8.4
	26.0	50.0	4.0	6.0	80.2	20.0	200.7	40.4	25.0	1.2	3.0	26.0	200.7	

地名	降雪日数												全年
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	
伴	8	3(1)	3	—	—	—	—	—	—	—	1	3	15
可加簡吉	6	3(1)	4	—	—	—	—	—	—	—	1	1	20
河	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
内緒野谷原	11	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
田竹島市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
津大殿廿海	21	—	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日田	13	—	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
浦	4	5(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
黑吳	8	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
上吉西中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
乃戶神木高	5	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小久忠尾松	12	2(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
柄	9	6(1)	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福御府	6	4(1)	4(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
市	5	2(1)	2(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
井山下國西	13	(1)	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
舍坂總朝生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
田市次和原	11	5(2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高野	15	11(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
吉十三比庄	8	7(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
西八上君布	9	6(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桑釋城木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生帝東油	4(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11(1)	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高野	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桑釋城木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生帝東油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

地名	霜日数												全年
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	
伴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
部計賀和	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
内緒野谷原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
田竹島市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
野川條瀬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
美野田郷坂	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
泉友海道水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山野中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
井山下國西	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
舍坂總朝生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
田市次和原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
城鉢山田野	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桑釋城木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高野	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生帝東油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

暴風日數

雷雨日數

霧日爐數稱

月 名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全 年
	伴	河	日田	瀬	黑吳	美野田郷坂	泉友海道水	山野中	井山下園西	舍坂總朝生	田市次和原	城鉢山田野	桑釋城木
部計賀和	内幡野谷原	田竹島市市	野川條瀬	美野田郷坂	泉友海道水	山野中	井山下園西	舍坂總朝生	田市次和原	城鉢山田野	桑釋城木	高野	一一一?
可加簡吉	戸八中都井	津大嚴廿海	上吉西申	乃戸神本高	小久忠尾松	福御府	久甲上小川	吉三田大壬	吉十三比庄	西八上君布	生帝東油	高	一一一?
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	一	一一一?
二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	一	二	一一一?
三	四	五	六	七	八	九	十	十一	一二	二	三	四	一一一?
四	五	六	七	八	九	十	一一	一二	二	三	四	五	一一一?
五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	一一一?
六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一一一?
七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	一一一?
八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	一一一?
九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十一	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	一一一?
二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	一一一?
三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	一一一?
四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	一一一?
五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	一一一?
六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一一一?
七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	一一一?
八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	一一一?
九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十一	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	一一一?
二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	一一一?
三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	一一一?
四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	一一一?
五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	一一一?
六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一一一?
七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	一一一?
八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	一一一?
九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十一	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	一一一?
二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	一一一?
三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	一一一?
四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	一一一?
五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	一一一?
六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一一一?
七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	一一一?
八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	一一一?
九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十一	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	一一一?
二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	一一一?
三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	一一一?
四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	一一一?
五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	一一一?
六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一一一?
七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	一一一?
八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	一一一?
九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十一	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	一一一?
二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	一一一?
三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	一一一?
四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	一一一?
五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	一一一?
六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一一一?
七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	一一一?
八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	一一一?
九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十一	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
十二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	一一一?
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	一一一?
二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	一一一?
三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	一一一?
四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	一一一?
五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	一一一?
六	七	八	九	一	二	三							

快晴日數

地名	月別												全年
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	
伴	部計賀和	内藤野谷原	田竹島市市	野川條瀬	美野田郷坂	泉友海道永	山野中	井山下國西	舍坂總朝生	田市次和原	城跡山田野	桑野釋城木	154
可加簡吉	戸八中都井	津大殿甘海	上吉西中	乃戸神本高	小久忠尾松	福御府	久甲上小川	吉三田大壬	吉十三比庄	西八上君布	高野	生翁東油	154
河	日田浦	黑吳	良	口	良	口	良	口	良	口	良	口	154

晴天日數

月 地 名	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十一 月	十二 月	全 年
伴 可加簡吉	12 8 9 ... 5	10 4 10 ... 10	45 8 19 ... 18	10 3 14 ... 11	6 7 4 ... 14	13 1 12 ... 16	13 3 8 ... 15	28 4 14 ... ?	17 2 14 ... ?	8 9 10 ... 8	7 9 10 ... 9	153 51 141 ... ?	149 103 116 ... ?
部計賀和 戸八中都井	12 9 10 ... 9	19 10 18 ... 13	13 11 11 ... 11	13 12 15 ... 14	13 12 9 ... 8	13 12 15 ... 17	13 14 15 ... 17	13 14 16 ... 18	13 14 15 ... 15	13 14 15 ... 14	13 14 15 ... 14	199 131 181 ... 181	55 112 70 ... 70
内福野谷原 津大殿廿海	12 10 9 12 15	19 11 11 12 18	23 16 16 12 14	16 12 15 14 10	17 15 18 12 15	12 20 19 17 3	20 26 27 21 21	12 16 15 14 11	13 14 15 14 11	14 15 15 14 11	185 222 176 ... 176	77 79 80 ... 80	
田竹島市市 日田瀬	12 16 15 15 15	19 13 22 23 14	23 16 18 14 10	16 12 18 12 15	17 15 19 12 15	12 21 21 20 21	20 26 27 21 20	12 15 15 14 11	13 14 15 14 11	14 15 15 14 11	185 222 176 ... 176	120 104 136 133	
野川條瀬 黒吳	15 6 16 11 22	15 6 9 10 16	21 7 5 8 14	12 6 5 8 10	14 5 4 8 11	17 4 7 3 11	7 9 9 7 15	9 9 9 6 14	5 9 9 6 11	7 9 9 6 20	72 127 127 141 194	120 104 136 133 133	
美野田郷坂 上吉西中	15 6 16 11 22	15 6 9 10 16	21 7 5 8 14	12 6 5 8 11	14 5 4 8 11	17 4 7 3 15	7 9 9 6 14	5 9 9 6 11	7 9 9 6 20	72 127 127 141 194	120 104 136 133 133		
乃戸神本高 小久忠尾松	14 17 18 8 14	14 18 12 13 11	18 25 24 10 11	10 19 10 6 10	14 19 11 3 12	12 22 13 2 12	8 22 13 5 13	9 15 16 12 11	11 15 17 12 11	141 230 162 92 183	92 73 102 154 98		
泉友海道永 柄	21 8 15 4 13	22 11 9 4 14	21 18 14 ?/ 22	18 7 7 ?/ 14	18 14 10 16 12	17 7 5 22 18	20 29 15 16 12	18 6 14 17 12	21 7 9 13 8	27 ... 13 21 8	254 ... 145 ?/ 185	39 103 123 ?/ 123	
山野中 市	13 8 12 ... 13	16 4 9 ... 14	24 9 10 18 17	21 4 12 13 14	14 6 12 12 14	15 8 12 12 14	10 15 17 17 19	15 12 17 12 19	14 6 9 8 7	6 ... 10 7 12	181 ... 171 ... 129	98 101 18 ... 117	
井山下國西 舍坂穂朝生	9 ... 11 4 6	13 24 10 17 11	20 14 12 14 12	14 2 1 13 13	15 15 16 12 15	17 4 1 12 10	21 19 18 12 19	15 10 9 7 9	12 4 4 11 4	10 5 5 11 10	205 ... 177 182 129	85 ... 117 101 117	
田市次和原 桑釋城木	7? 14 9 9 12	9 15 9 18 11	19 15 15 18 11	11 15 6 12 7	11 15 7 12 9	15 12 2 13 17	18 23 31 19 17	16 14 9 11 10	14 12 11 7 6	14 12 11 10 13	218 182 113 169 131	57 ... 89 149 119	
城鉢山田野 桑釋城木	11 8 14 8 ...	14 13 10 10 ...	26 15 16 18 ...	17 9 7 18 ...	22 18 17 31 ...	18 15 19 19 ...	28 23 19 19 ...	16 14 14 11 ...	14 12 11 8 ...	165 ... 165	37 ... 37 113		
生帝東油 西八上君布	11 21 12	13 23 10	20 18 18	18 9 9	12 17 17	19 17 18	29 29 31	16 18 18	19 18 11	12 14 12	24 25 14	168	37 ... 37 113

曇天日數

月 地 名	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十一 月	十二 月	全 年
伴 可加簡吉	12 7 16 ... 11	15 11 9 ... 8	13 8 9 ... 8	14 13 10 ... 10	17 8 11 ... 7	6 5 4 ... 6	9 8 11 ... 7	3 3 4 ... 2	11 13 8 ... ?	12 5 5 ... ?	16 16 11 ... 14	21 6 6 ... 13	149 103 116 ... ?
部計賀和 戸八中都井	12 7 16 ... 11	15 11 9 ... 8	13 8 9 ... 8	14 13 10 ... 10	17 8 11 ... 7	6 5 4 ... 6	9 8 11 ... 7	3 3 4 ... 2	11 13 8 ... ?	12 5 5 ... ?	16 16 11 ... 14	21 6 6 ... ?	149 116 116 ...
内福野谷原 津大殿廿海	12 7 16 ... 11	15 11 9 ... 8	13 8 9 ... 8	14 13 10 ... 10	17 8 11 ... 7	6 5 4 ... 6	9 8 11 ... 7	3 3 4 ... 2	11 13 8 ... ?	12 5 5 ... ?	16 16 11 ... 14	21 6 6 ... ?	149 116 116 ...
田竹島市市 日田瀬	12 7 16 ... 11	15 11 9 ... 8	13 8 9 ... 8	14 13 10 ... 10	17 8 11 ... 7	6 5 4 ... 6	9 8 11 ... 7	3 3 4 ... 2	11 13 8 ... ?	12 5 5 ... ?	16 16 11 ... 14	21 6 6 ... ?	149 116 116 ...
野川條瀬 黒吳	15 6 16 11 22	15 6 9 10 16	21 7 5 8 14	12 6 5 8 11	17 4 7 3 11	7 9 9 6 14	12 15 18 11 16	4 5 6 5 10	7 9 9 6 14	12 15 18 11 16	5 6 7 5 10	11 12 13 11 16	177 82 175 82 82
美野田郷坂 上吉西中	15 6 16 11 22	15 6 9 10 16	21 7 5 8 14	12 6 5 8 11	17 4 7 3 11	7 9 9 6 14	12 15 18 11 16	4 5 6 5 10	7 9 9 6 14	12 15 18 11 16	5 6 7 5 10	11 12 13 11 16	177 82 175 82 82
乃戸神本高 小久忠尾松	14 17 18 8 14	14 18 12 13 11	18 25 24 10 11	10 19 10 6 10	14 19 11 3 12	12 22 13 2 12	8 22 13 5 13	9 15 16 12 11	11 15 17 12 11	141 230 162 92 183	92 73 102 154 98		
泉友海道永 柄	21 8 15 4 13	22 11 9 4 14	21 18 14 ?/ 22	18 7 7 ?/ 14	18 14 10 16 12	17 7 5 22 18	20 29 15 16 12	18 6 14 17 12	21 7 9 13 8	27 ... 13 21 8	254 ... 145 ?/ 185	39 103 123 ?/ 123	
山野中 市	13 8 12 ... 13	16 4 9 ... 14	24 9 10 18 17	21 4 12 13 14	14 6 12 12 14	15 8 12 12 14	10 15 17 17 19	15 12 17 12 19	14 7 4 11 8	6 ... 10 7 12	181 ... 171 ... 129	98 101 18 ... 117	
井山下國西 舍坂穂朝生	9 ... 11 4 6	13 24 10 17 11	20 14 12 14 12	14 2 1 13 13	15 15 16 12 15	17 4 1 12 10	21 19 18 12 19	15 10 9 7 9	12 4 4 11 8	6 ... 10 7 13	205 ... 177 182 129	85 ... 117 101 117	
田市次和原 桑釋城木	7? 14 9 9 12	9 15 9 18 11	19 15 15 18 11	11 15 6 12 7	11 15 7 12 9	15 12 							

最 多 風 向 天

大正十四年三月二日印刷

大正十四年三月五日發行

廣島縣廣島測候所

印刷者 花 哎 信 一

廣島市千田町二丁目九〇八番地

印刷所 花 唉 印 刷 所

廣島市千田町二丁目九〇八番地

14.6=

142

終